

ホーチキ

P型1級受信機

火災受信盤 RPV-AAW

防災監視盤 HAV-AAW

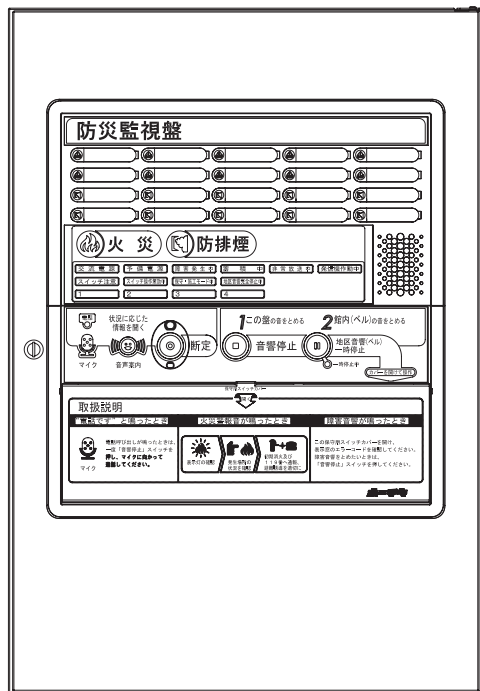
P型2級受信機

防災監視盤 HAV-EAW

連動操作盤 RCV-AAW

取扱説明書

このたびはホーチキ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。



- この取扱説明書は製品を正しくお使いいただくための注意事項や基本的な取扱方法・操作手順などを説明しています。
- この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分理解されたから製品をご使用ください。
- 取扱説明書はいつも手元におき、紛失なされないようご注意ください。
- この取扱説明書に書かれていない使用方法をおこなった場合の責任は負いかねます。
- 本製品を使用したシステムは、感知器、発信機などから信号を受け、警報を発したり、防火戸などを自動的に作動させるものであり、火災の発生を防止したり、消火を行うものではありません。







製品を安全にご使用いただくには、正しい操作方法と定期的な保守・点検が必要です。

この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。





安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書にはいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告表示用マーク

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が重傷や障害を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響をおよぼすことが想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負うか、防災機能に悪影響をおよぼすことが想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合を表しています。
	「感電注意」を表しています。
	「一般的な禁止」を表しています。
	「分解禁止」を表しています。
	「必ずおこなう」を表しています。

説明用マーク








	知っておいて欲しいことを説明しています。
	補足説明や制限事項を説明しています。
	火災に関する機能を説明しています。
	防排煙に関する機能を説明しています。

安全に正しく
お使いいただく
ために

警告表示用マーク・説明用マーク

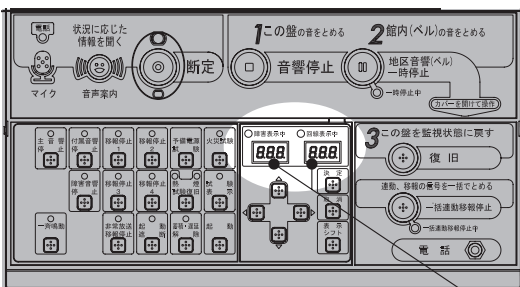
使用上の注意

警告

 禁止	<p>盤を分解・改造したり、盤内に手を触れないでください。感電や故障の恐れがあります。</p>
 必ずおこなう	<p>盤が故障したときは、すみやかに点検資格者に修理を依頼してください。故障を放置すると正常に機能しません。</p>
 必ずおこなう	<p>盤が正常な監視状態にあるか確認してください。正常な監視状態にないと火災時などに正しく動作しません。</p>
 注意	<p>消火設備などと連動になっている場合があります。操作には十分注意してください。</p>
 注意	<p>予備電源には寿命があります。5年を目処に交換してください。</p>
 禁止	<p>防火戸、防火シャッター、防煙たれ壁などの付近にもものをおかないでください。 火災時に所定の機能が発揮できない恐れがあります。</p>
 禁止	<p>火災発生時や点検時に防火戸、防火シャッターなどが作動します。作動時に防火戸、防火シャッターなどをくぐったり、通過したりしないでください。はさまれる恐れがあります。</p>

表示窓（7セグメント）表示例

表示窓（7セグメント）には数字とアルファベットを以下のように表示します。
なお、拡大した表示例は最終ページを参照ください。









数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
表示窓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
表示窓	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
アルファベット	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
表示窓	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z

保守用スイッチカバー内操作部

表示窓(3桁×2)

点検上の注意

警告

 注意	点検などで盤を作動させる場合は、連動している設備（防火シャッター・防火戸・ガス系消火設備など）の内容を十分確認して操作してください。不用意な操作は他設備に損害を与えたり、人に危害をおよぼす恐れがあります。
 必ずおこなう	定期交換が必要な部品は指定期間内に交換してください。交換しないと正常に機能しなくなります。
 必ずおこなう	予備電源は必ず取り付けてください。予備電源がないと停電時に機能しません。
 注意	予備電源の接続は、+、-を絶対に間違えないようにしてください。誤って接続すると、故障・発火の原因となります。
 禁止	盤のお手入れをおこなうときはアルカリ性洗剤を使用しないでください。樹脂がひび割れを起こして誤動作や故障の原因となります。
 必ずおこなう	盤の表面の汚れは、水に浸して固く絞った布で拭き取ってください。

注意（推奨事項）

予備電源には寿命があります。5年を目処に交換してください。
停電時、正常に機能しない場合があります。

ご使用済みの予備電源は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで、
リサイクル協力店にご持参ください。

定期点検について

注意



必ずおこなう

防火対象物の関係者(自動火災報知設備の設置してある建物の所有者、管理者又は占有者を示します)は、自動火災報知設備の定期点検および定期点検の結果報告をおこなってください。消防関係法令により、義務づけられています。

自動火災報知設備は、予期しない火災という状況を早期に発見し関係者に知らせることによって火災から人命を守り、損害を最小限に防ぐために設置されるものです。従って火災時に設備全体が支障なく働くことが必要になります。このためには設備が正常な状態で維持されるように、定期的な点検をおこなう必要があります。

■ 定期点検の内容

自動火災報知設備の点検は、その防火対象物の用途および規模により、消防設備士または総務大臣が認める点検資格者によっておこなわれることが定められています。

点検概要

点検項目	点検の種類	点検の期間
自動火災報知設備	機器点検	6ヶ月に1回
	総合点検	1年に1回
配線	総合点検	1年に1回

■ 定期点検の報告

防火対象物の関係者は、点検の結果を維持台帳に記録し、法定書式に基づき定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

点検概要

防火対象物の種類	報告の期間
特定防火対象物	1年に1回
特定防火対象物以外のもの	3年に1回

■ 点検契約

自動火災報知設備の点検には、専門的な知識が必要です。また各種点検器具および測定器も必要とするため、定期点検は、取扱店または弊社と点検契約を結び点検資格者による点検を実施してください。

システム構成

.....	10
-------	----

正常監視中

.....	11
-------	----

緊急時の処置

火災発生時の処置	12
----------------	----

音響を停止するときの処置	14
--------------------	----

運用・機能編

各部の名称とはたらき	15
------------------	----

- 本体 15
- 地区表示部、作動表示部 16
- 種別表示部 17
- 操作表示部 18

正常時の状態	20
--------------	----

火災の場合の動作	22
----------------	----

- 火災信号が入ったとき 22
- 火災警報音が鳴ったとき 23
- 防排煙火災警報音が鳴ったとき 24
- 火災断定するとき 25
- 火災状態の復旧 25

障害音響が鳴ったとき	26
------------------	----

地区音響（館内のベルなど）を一斉に鳴らす	28
----------------------------	----

非常放送設備のマイク使用中の地区音響停止	28
----------------------------	----

“電話です”と鳴ったとき 29

- ハンズフリー機能を使用時の通話 29
- 送受話器を使用時の通話 29

音声案内について 30

- 音声案内とは 30
- 火災発生時の音声案内 30
- 障害発生時の音声案内 31

スイッチ操作無効について 32

- スイッチ操作無効とは 32
- スイッチ操作無効の設定・解除方法 32

こんなときは 34

- 火災（避難）訓練をおこないたい 34
- くん煙殺虫剤を使いたい 34
- 停電になったときの対応 35
- 感知器のお手入れについて 35

点検・試験編

各部の名称とはたらき 36

- 保守用スイッチカバー内操作部 36
- 基板配置図 38
- 基板の操作部（スイッチ、ショートピン） 39

保守・施工モードについて 41

- 保守・施工モードとは 41
- 保守・施工モードの設定・解除方法 41

点検・試験 42

- 地区音響完全停止 42
- 連動停止、移報停止、音響停止 42
- 防排煙連動機器の遠隔制御 43
- 地区音響の遠隔制御 44
- 地区音響短時間鳴動 45
- 試験 46
 - 手動火災試験 46
 - 自動火災試験 47
 - 予備電源試験 48
 - 蓄積機能試験 49
 - 表示機能試験 50
 - 地絡試験 51
 - 試験復旧機能 52
- 自己診断 53
 - 定期自己診断 53
 - 手動自己診断 53
- 状態表示 54
 - 感知器線障害表示 54
 - 地区音響回線鳴動表示 55

登録内容の確認 56

- 登録内容の確認 56
- 盤での登録内容の確認方法（確認モード） 56
- USBメモリーでの登録内容の確認方法 57

履歴について 58

- 履歴とは 58
- 盤での履歴確認方法 58
- USBメモリーでの履歴確認方法 61
- 履歴の削除方法 62

障害発生時の点検と処置 67

付録

よくある質問 72

定格・仕様 73

索引

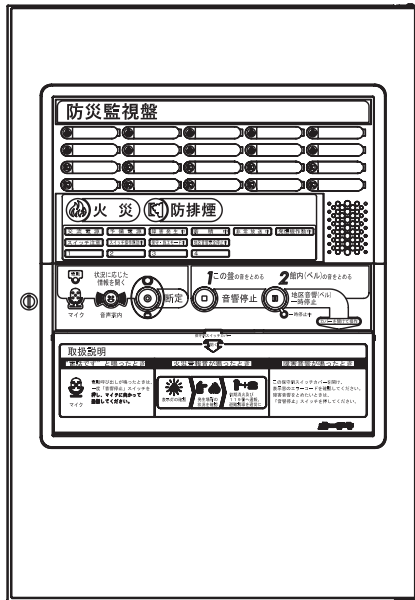
..... 74

《回路図》

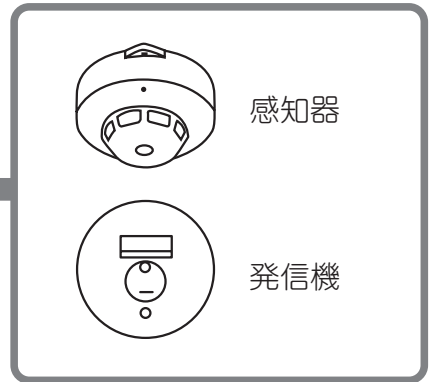
- 火災受信盤 回路図 RPV-A24A式
- 防災監視盤 回路図 HAV-A24A式
- 防災監視盤 回路図 HAV-E24A式
- 連動操作盤 回路図 RCV-A24A式

システム構成

防災監視盤



火災入力

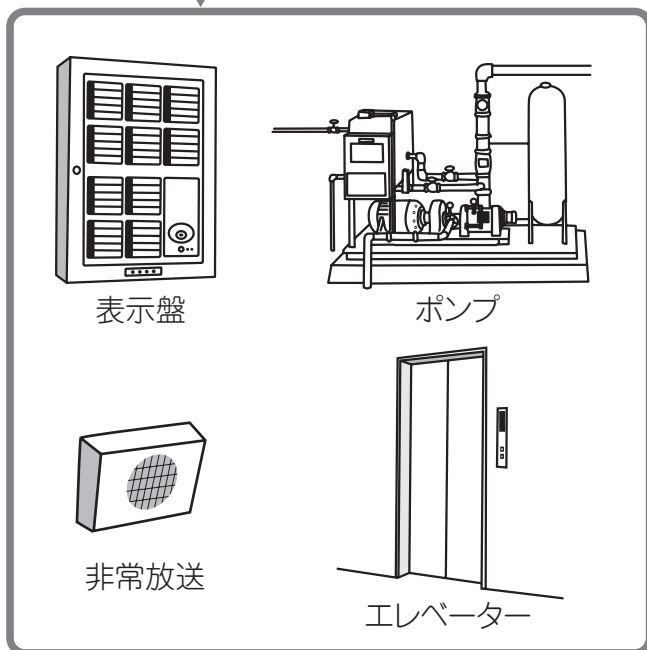


感知器

発信機

制御出力

移報出力

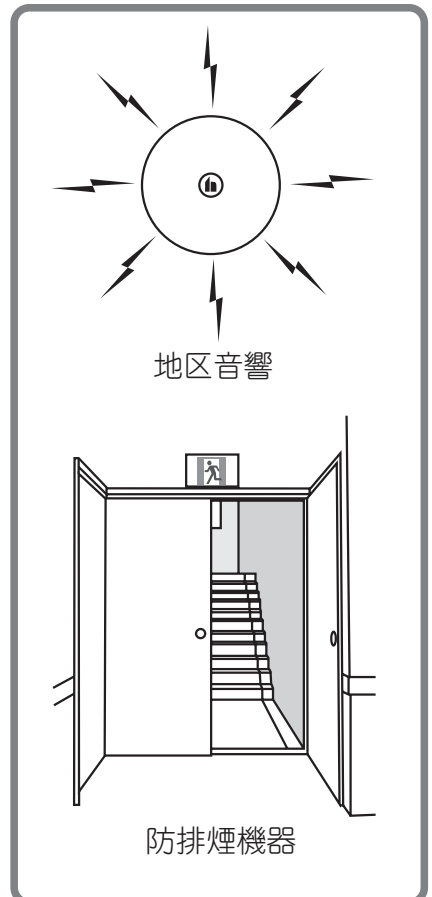


表示盤

ポンプ

非常放送

エレベーター

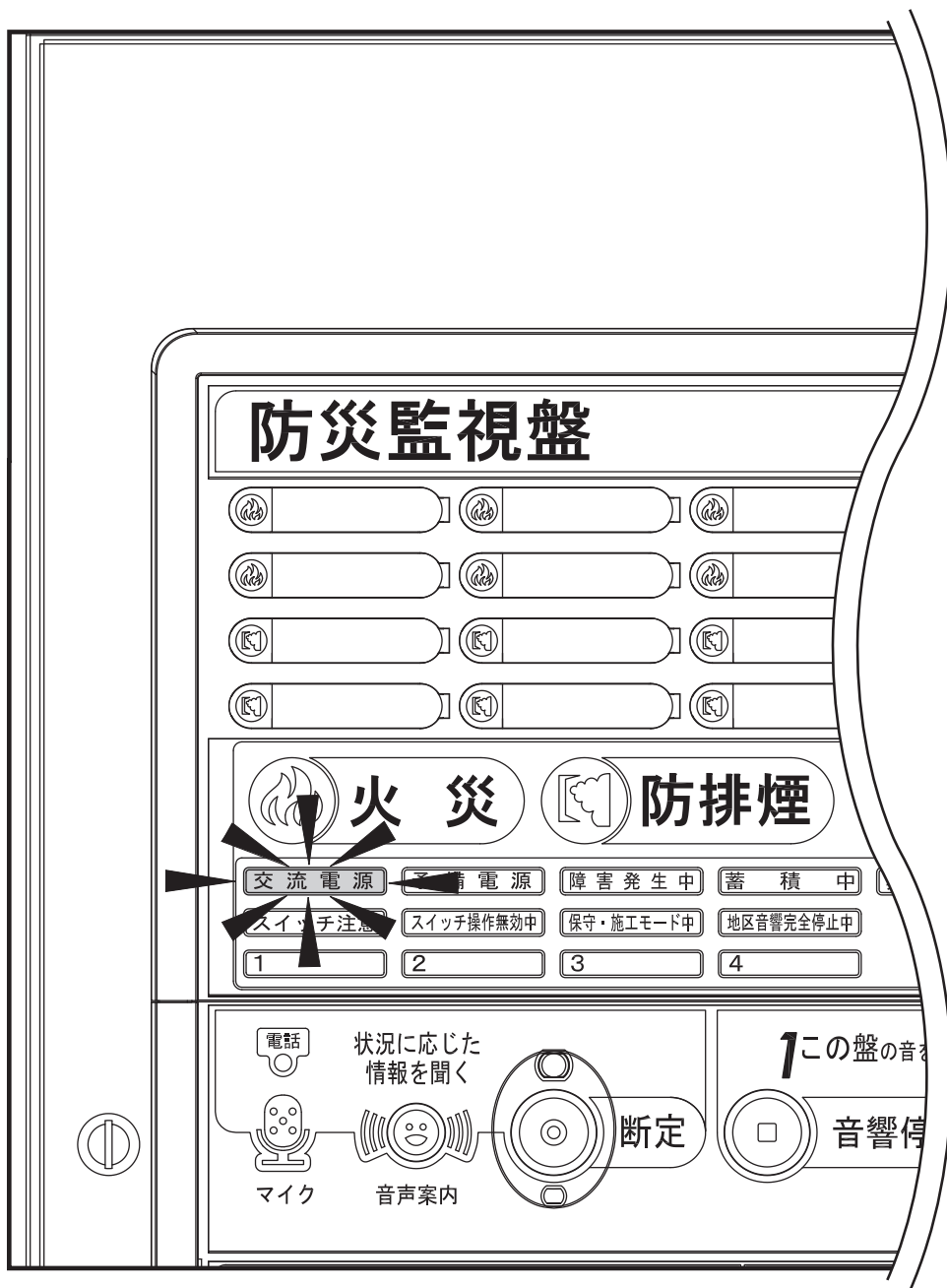


地区音響

防排煙機器

正常監視中

交流電源灯（緑色）のみ点灯していれば盤が正常です。



正常監視中

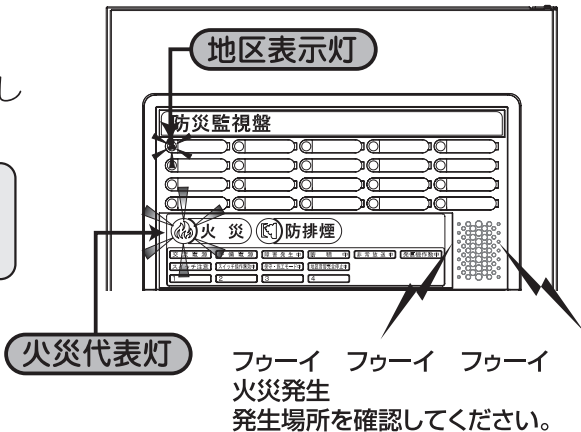
緊急時の処置

火災発生時の処置

火災警報音が鳴った場合は、あわてずに次の処置をしてください。

- 1** 火災代表灯、地区表示灯が点滅し、
スピーカーが鳴動します。
地区表示灯の位置で発生場所を確認してください。

・人がいる場所か
・危険物がある場所か



- 2** 消火器などを持って直ちに発生場所に急行し、
状況を確認してください。

・火災発生場所はどこか
・けが人、逃げ遅れた人はいるか
・なにが燃えているのか
・危険物はあるか

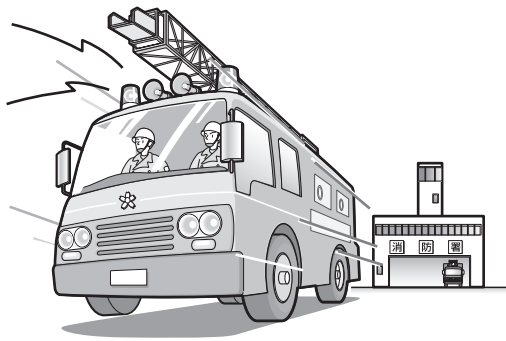


火災の場合

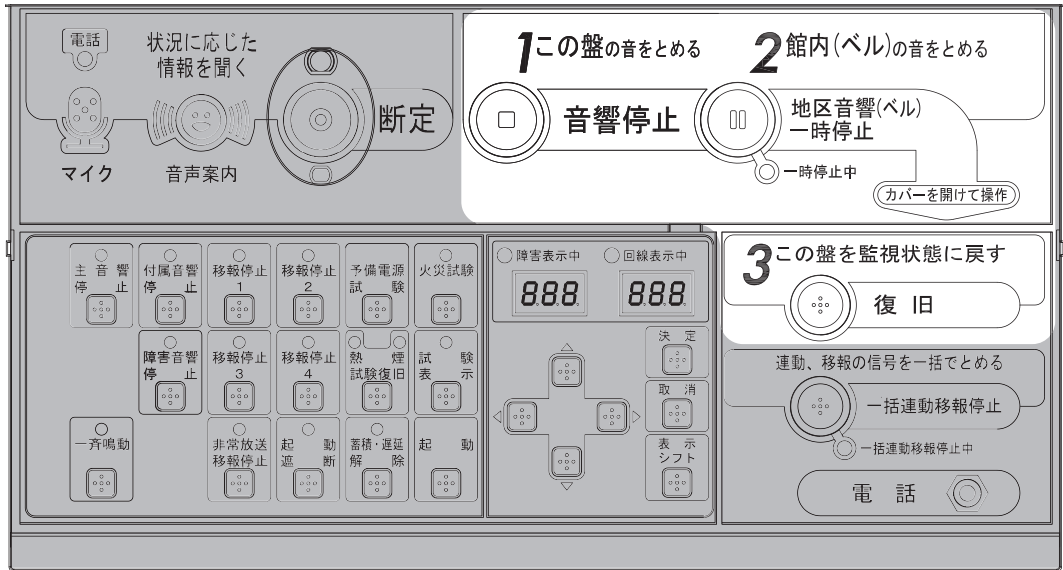
- 3** 火災であることを確認したら電話で
119番に通報してください。
状況に応じて、初期消火や避難誘導をおこなってください。

消防署への通報内容

1. 火事です	7. 逃げ遅れた人の有/無
2. 住所	8. 負傷者の有/無
3. 建物名称	
4. 電話番号	
5. 火災発生場所	
6. 火災状況	



火災でない場合



- 3 火災でないことを確認できた場合は、1番の音響停止スイッチを押して、スピーカの音を止めてください。
- 4 2番の地区音響(ベル)一時停止スイッチを押して、館内(ベル)の音を止めてください。
※連動操作盤の場合、この操作は必要ありません。
- 5 発生場所にて、作動している感知器や発信機を探して作動原因を取り除いてください。
- 6 3番の復旧スイッチを押して、火災代表灯と地区表示灯が消えることを確認してください。
- 7 スイッチ注意灯が点滅している場合、P20を参考に定位でないスイッチを解除してください。

※上記処置をおこなっても火災代表灯・地区表示灯が消えない場合は、点検契約先へ連絡してください。

音響を停止するときの処置

警告



禁止

火災時に地区音響を停止しないでください。
避難活動や消火活動が遅れる恐れがあります。

火災警報音が鳴ったときは、必要に応じてこの盤の音を止めます。

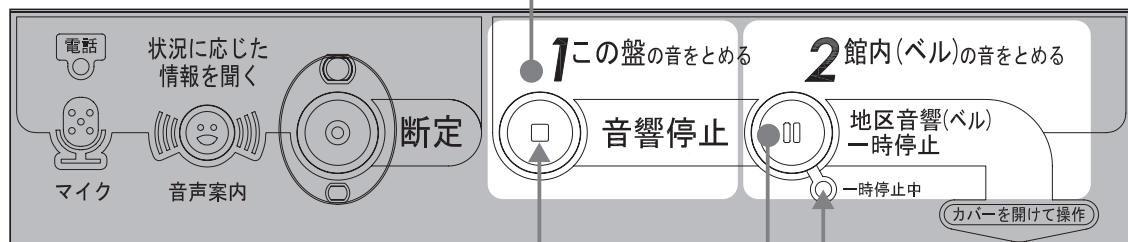
1

この盤の音を止めるには

1番の音響停止スイッチを押してください。
音響停止誘導灯が消灯し、スピーカーの音が止まります。（地区音響は鳴動し続けます）

補足

一度音響停止にしても他の回線から発報を受信すると、再度音響が鳴動します。



音響停止誘導灯

地区音響(ベル)一時停止中灯

2

館内(ベル)の音を止めるには

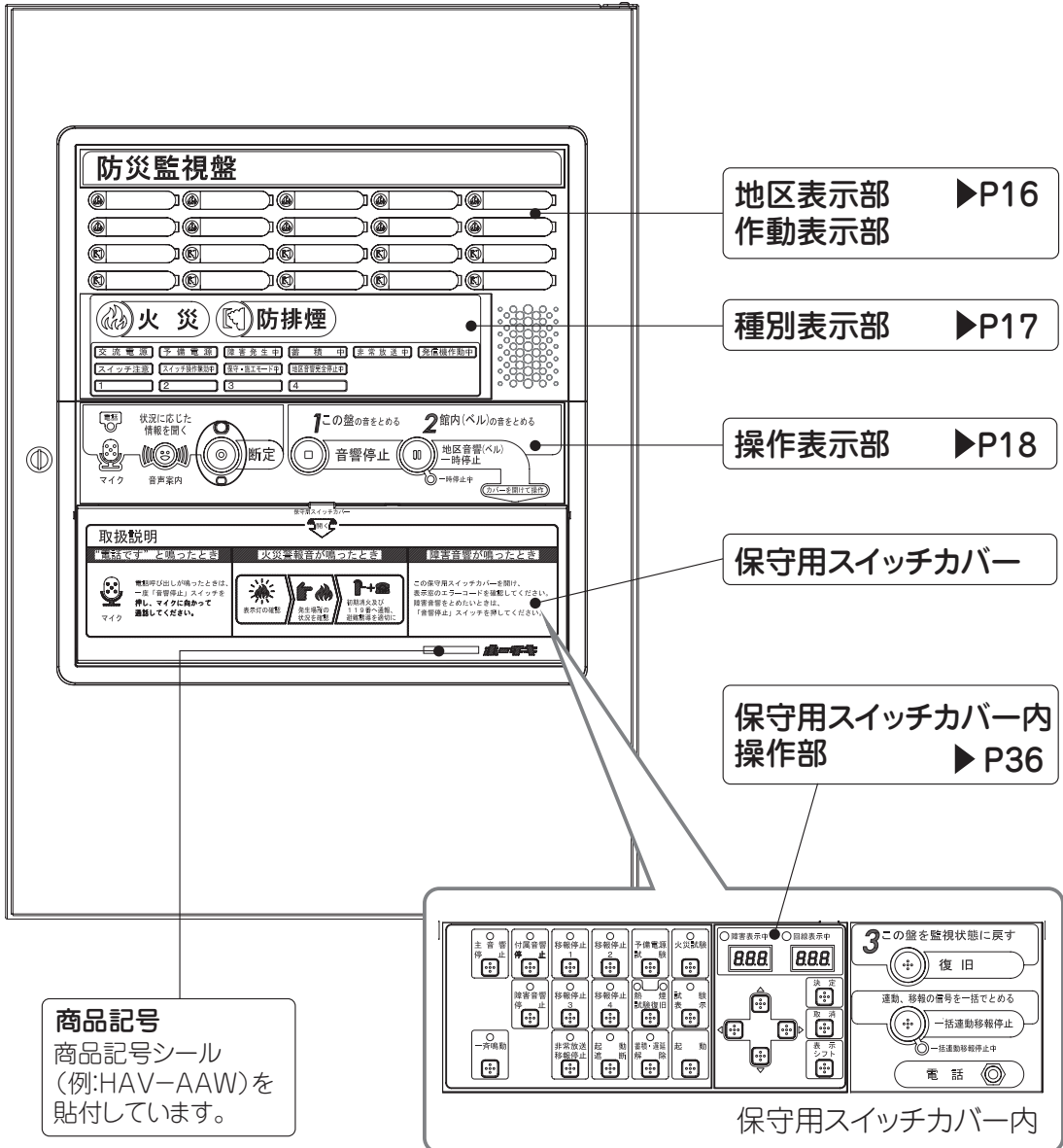
2番の地区音響(ベル)一時停止スイッチを押してください。
・地区音響(ベル)一時停止中灯が点滅し、地区音響(館内のベルなど)の鳴動が止まります。

補足

一度地区音響一時停止にしても、他の回線または発信機からの発報を受信すると、再度地区音響が鳴動します。
また、発報がなくても一定時間経過すると自動的に再鳴動します。
(地区音響を完全停止する場合→P42)

各部の名称とはたらき

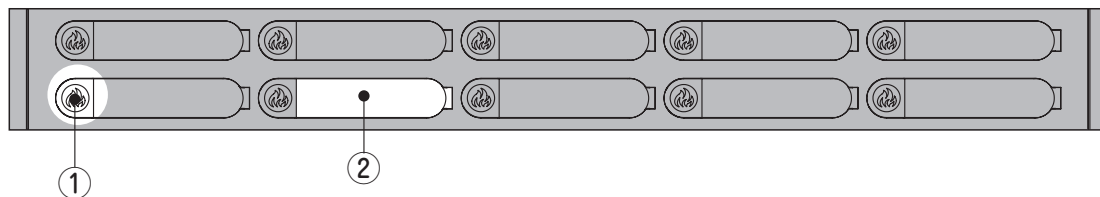
■ 本体



本図はHAV-AAWの20回線仕様の場合を示します。

■ 地区表示部、作動表示部

火災の発生場所または機器の作動を表示します。



①地区(又は作動)表示灯(赤色)

- ・地区表示灯
火災発生場所の地区表示灯が点滅します。
- ・作動表示灯
防排煙が作動した場所の作動表示灯が点滅
または点灯します。
警報が発生した場所の作動表示灯が点滅します。

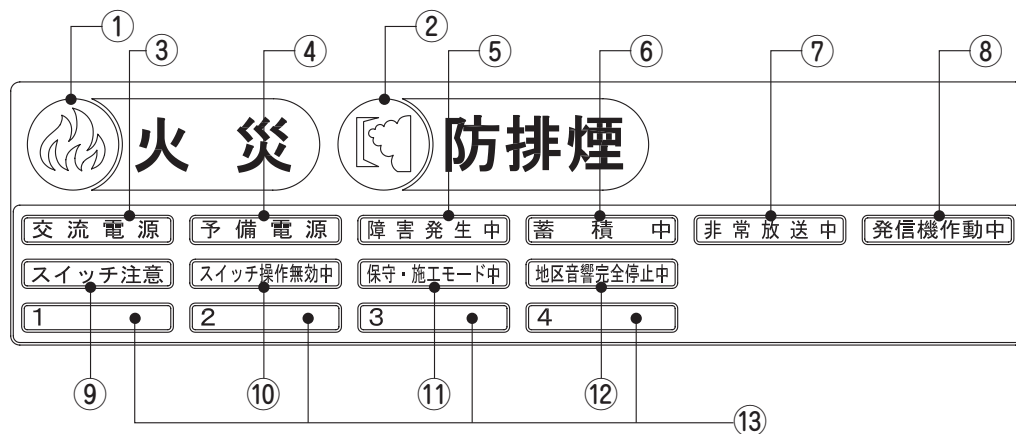


②地区窓

地区(又は機器)名称を記載します。

種別表示部

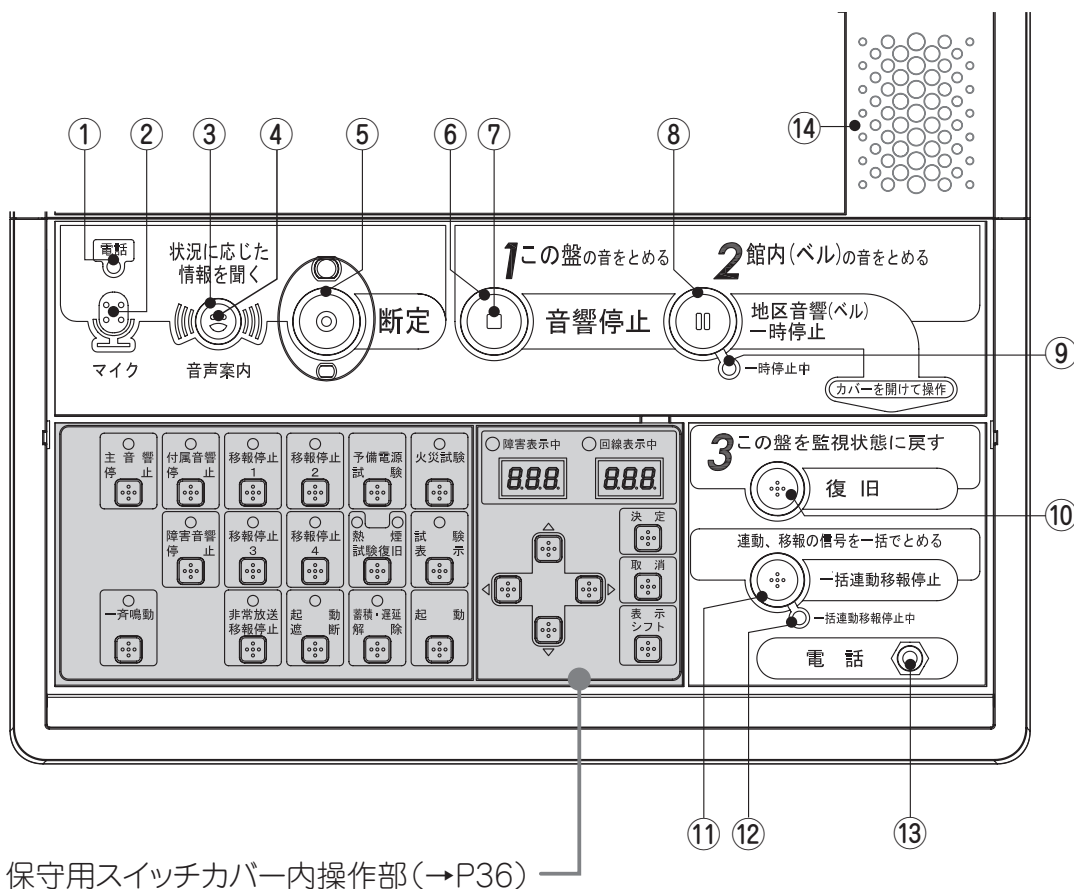
(製品によっては、本図と異なります。製品と照らし合わせて、お読みください。)



- ①火災代表灯(赤色)
火報回線での感知器発報、または発信機発報があるときに点滅します。
- ②防排煙代表灯(赤色)
防排煙回線での感知器発報があるときに点滅します。
- ③交流電源灯(緑色)
交流電源で動作しているときに点灯します。
- ④予備電源灯(赤色)
予備電源で動作しているときに点灯します。
- ⑤障害発生中灯(黄色)
障害があるときに点滅します。
- ⑥蓄積中灯(赤色)
火災信号を受信して蓄積動作中に点灯、点滅します。(→P22)
- ⑦非常放送中灯(赤色)
非常放送中に点灯します。
- ⑧発信機作動中灯(赤色)
発信機が押されたときに点灯します。
- ⑨スイッチ注意灯(赤色)
特定のスイッチが通常状態でないときに点滅します。(→P20)
- ⑩スイッチ操作無効中灯(赤色)
スイッチ操作が無効設定になっているときに点灯します。(→P32)
- ⑪保守・施工モード中灯(赤色)
保守・施工モードになっているときに点滅します。(→P41)
- ⑫地区音響完全停止中灯(赤色)
地区音響(館内のベルなど)完全停止中に点滅します。
- ⑬諸表示1~4灯(赤色)
他の装置が作動したときに点灯します。

操作表示部

(製品によっては、本図と異なります。製品と照らし合わせて、お読みください。)



保守用スイッチカバー内操作部(→P36)

- ① **電話灯 (赤色)**
発信機などから電話呼び出しがあったときに点灯します。
- ② **マイク**
送受信器を使用しないで通話するときに使用します。(→ P29)
- ③ **音声案内スイッチ**
音声案内誘導灯が点滅しているときに押すと、音声案内が始まります。(→ P30)
- ④ **音声案内誘導灯 (赤色)**
音声案内する内容があるときに点滅し、音声案内スイッチを押す操作をうながします。
- ⑤ **断定スイッチ (スイッチカバー付)**
火災のときに押すと主な保守用停止スイッチが解除されます。(→ P25)
使用するときは、スイッチカバーを左右どちらかにスライドさせて使用してください。
- ⑥ **音響停止スイッチ**
盤のスピーカーの音を止めるときに使用します。

⑦音響停止誘導灯（赤色）

盤のスピーカーの音が鳴っているときに点滅して、スピーカーの音を止める操作をうながします。

⑧地区音響（ベル）一時停止スイッチ

地区音響（館内のベルなど）を止めたいときに使用します。

もう一度押すと停止を解除できます。

⑨地区音響（ベル）一時停止中灯（赤色）

地区音響（ベル）一時停止中に点滅します。

⑩復旧スイッチ

盤を正常監視状態に戻すときに使用します。

⑪一括連動移報停止スイッチ

連動・移報の信号を一括で止めたいときに使用します。

一括連動移報停止を押すと、移報停止1～4(スイッチ種別がロックスイッチとノンロックスイッチ以外)、非常放送移報停止、起動遮断が停止します。

一括連動移報停止を解除すると、各停止設定は、スイッチを押す前のスイッチ状態に戻ります。

⑫一括連動移報停止中灯（赤色）

一括連動移報停止中に点灯します。

⑬電話ジャック

発信機、表示盤と送受話器で通話するときに使用します。

⑭スピーカー

警報、障害、電話、音声案内などがあるときに鳴動します。

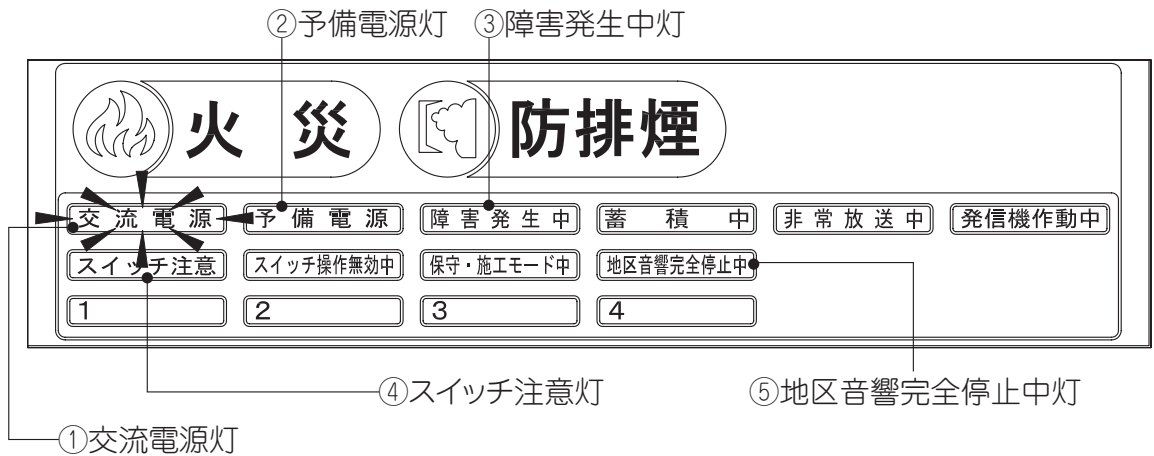
正常時の状態

警告



正常な監視状態にあるか、日頃より確認してください。
スイッチなどが正常な状態でないと火災時などに正しく動作しません。

正常時は交流電源灯(緑色)のみ点灯しています。



- ①交流電源灯が点灯しています。
- ②予備電源灯が消灯しています。(点灯時は、ブザー音(◆)が鳴ります。)
※停電音響停止スイッチがONの時は、ブザー音は鳴りません。(→P39)
- ③障害発生中灯が消灯しています。
- ④スイッチ注意灯が消灯しています。
- ⑤地区音響完全停止中灯が消灯しています。(点滅時は、ブザー音(◆)が鳴ります。)

◆ブザー音：1分間に1回のブザー音(ピー)が鳴り、注意をうながします。

スイッチ注意灯とは

以下の「特定スイッチ」が定位でないときに、点滅して注意をうながします。

〈盤面スイッチ〉

- | | | |
|--------------|---------------|-------------------|
| ・主音響停止スイッチ | ・非常放送移報停止スイッチ | ・火災試験スイッチ |
| ・付属音響停止スイッチ | ・起動遮断スイッチ | ・試験表示スイッチ |
| ・障害音響停止スイッチ | ・試験復旧スイッチ | ・地区音響(ベル)一時停止スイッチ |
| ・移報停止スイッチ1~4 | ・蓄積・遅延解除スイッチ | ・地区音響完全停止状態 |
| | | ・一括連動移報停止スイッチ |

〈盤内スイッチ〉







- | | |
|---------------|---------------|
| ・保守・施工モードスイッチ | ・停電音響停止スイッチ |
| ・スイッチ操作無効スイッチ | ・登録/確認モードスイッチ |



※各スイッチの詳細は、P36~P42を参照してください。

盤の動作は、製品によって該当しない項目もあります。商品記号でお買い上げの製品を確認し、下表と照らし合わせてお読みください。(→ P15 商品記号)

■製品と動作（警報音）の対応表

製品		P型1級受信機		P型2級受信機	連動操作盤
		RPV -AAW	HAV -AAW	HAV -EAW	RCV -AAW
動作	警報音		 	 	
火災信号が入ったとき	ピピピピ（※1）	○	○	○	○
火災警報音が鳴ったとき	フーイ フーイ フーイ 火災発生 発生場所を確認してください	○	○	○	×
防排煙火災警報音が鳴ったとき	フィンフィン フィンフィン 火災発生 発生場所を確認してください	×	○	○	○
火災断定するとき	—	○	○	○	○
火災状態の復旧	—	○	○	○	○
障害音響が鳴ったとき	ピンポン 障害が発生しています （※1、※2）	○	○	○	○
地区音響（館内のベルなど）を一斉に鳴らす	—	○	○	○	×
非常放送設備のマイク使用中の地区音響停止	—	○	○	○	×
“電話です”と鳴ったとき	プルルルルル 電話です	○	○	×	×
防排煙確認信号が入ったとき	ピロピロピロピロピロ （※1）	×	○	○	○
警報、諸表示信号が入ったとき		○	○	○	○

※1 設定により、「音響なし」に設定できます。

※2 中継器電源線異常（エラーコード「E03」「005」）が発生した場合は、「音響なし」に設定しても障害音響が鳴動します。

凡例 ○：動作あり
×：動作なし

火災の場合の動作

■ 火災信号が入ったとき

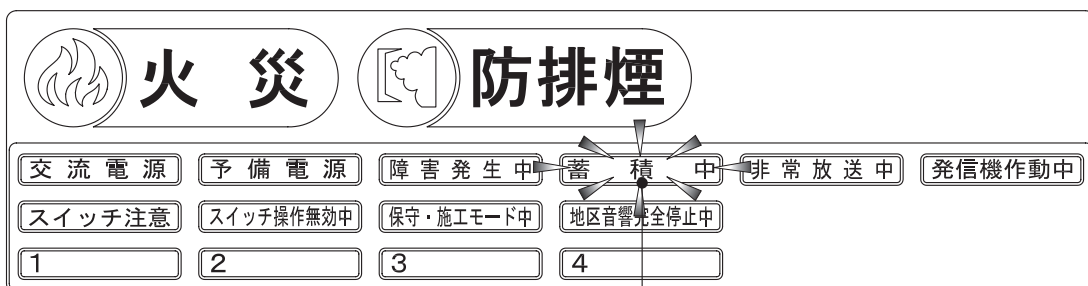
感知器からの火災信号が入ると、正しく火災を判断する（非火災報を低減させる）ために、蓄積機能がはたらきます。

非火災報、蓄積機能とは

非火災報とは、調理、たばこ、排気ガスなどにより発生する一過性の熱や煙によって、火災でないのに警報を出してしまうことをいいます。

蓄積機能とは、非火災報を減らすために、感知器からの火災信号を検出してから一定時間火災信号が継続したとき、火災警報を出す機能です。

盤では、一定時間後に感知器からの信号を一旦復旧し、再び火災信号を検出することで火災信号の継続を判断しています。



①③蓄積中灯

- ①蓄積中灯が点灯します。
- ②蓄積音響が「あり」に設定されている場合、「ピピピピ」と音響が鳴ります。
- ③一定時間経過すると、蓄積中灯が点滅に変わります。
(→工事説明書P50)

補足

- ・発信機からの火災信号が入ると蓄積を解除し、すぐに火災発報をおこないます。
- ・蓄積が「なし」に設定がされている場合、蓄積はおこなわず、すぐに火災発報をおこないます。
- ・蓄積は回線ごとにおこなっています。
- ・蓄積機能により火災信号を一旦復旧したのち、一定時間内に火災信号が入らない場合は正常監視状態に戻ります。

■ 火災警報音が鳴ったとき

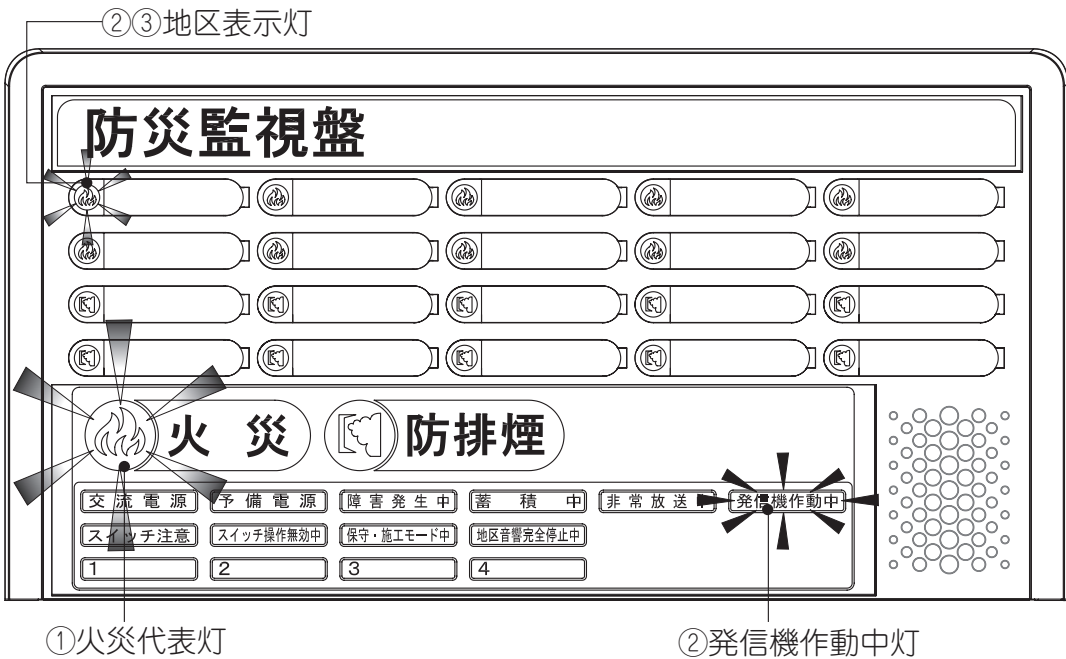
警告



禁止

火災が鎮火する前に盤の復旧操作をおこなわないでください。
火災の状況把握が困難になります。

火災警報音が鳴ったら、あわてずに発生した場所（現場の状況）の確認をおこなってください。



①火災代表灯

②発信機作動中灯

- ①火災代表灯が点滅し、スピーカーが鳴動します。
「フーイ フーイ フーイ 火災発生 発生場所を確認してください。」
- ②地区表示灯が点滅します。
 - ・地区表示灯が複数の発報を表示している場合は第1報目が早い点滅、第2報目以降は遅い点滅となります。
 - ・発信機が押された場合は発信機作動中灯が点灯します。点灯していない場合は感知器による火災発報です。
- ③地区表示灯が点滅している火災の発生場所を確認します。

発生した場所を確認し、状況に応じて以下の操作をしてください。

- ・音響を停止するとき →P14
- ・火災の場合 →P25 (■火災断定するとき)
- ・火災でない場合 →P25 (■火災状態の復旧)
- ・ガイダンスを聞くととき →P30 (■火災発生時の音声案内)

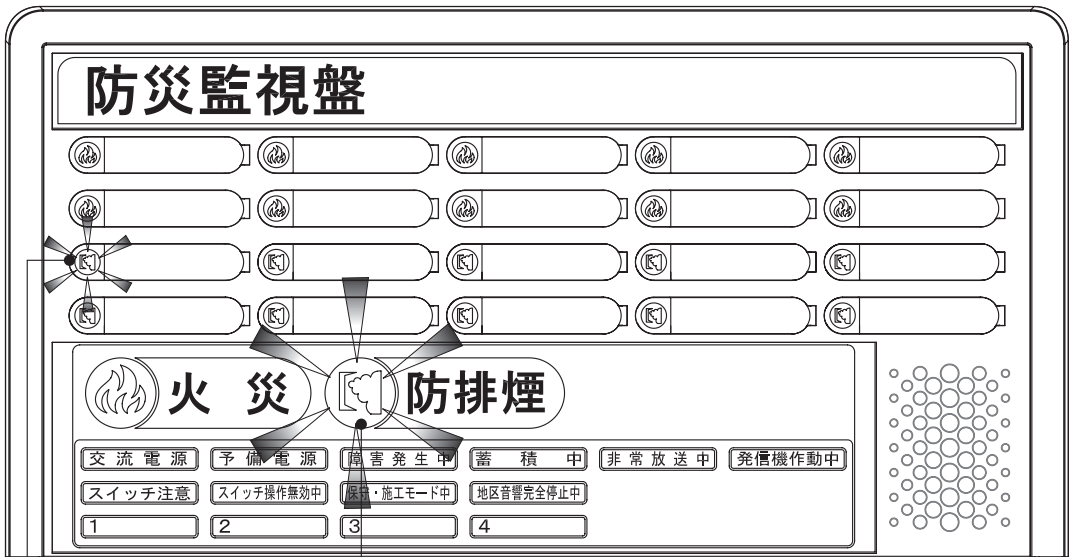
■ 防排煙火災警報音が鳴ったとき

警告



火災が鎮火する前に盤の復旧操作をおこなわないでください。
火災の状況把握が困難になります。

防排煙火災警報音が鳴ったら、あわてずに発生した場所（現場の状況）の確認をおこなってください。



②③作動表示灯 ①防排煙代表灯

①防排煙代表灯が点滅し、スピーカーが鳴動します。

「フィンフィン フィンフィン 火災発生 発生場所を確認してください。」

②作動表示灯が点滅し、連動する防排煙機器を制御します。

③連動する防排煙機器の作動が完了した信号を受けると、作動表示灯が点灯に変わります。

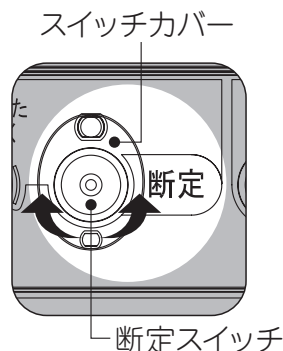
発生した場所を確認し、状況に応じて以下の操作をしてください。

- ・音響を停止するとき →P14
- ・火災の場合 →P25 (■火災断定するとき)
- ・火災でない場合 →P25 (■火災状態の復旧)
- ・ガイダンスを聞くと →P30 (■火災発生時の音声案内)

■ 火災断定するとき

火災が発生した場所の状況を確認した結果、火災の場合は次の手順に従い操作をしてください。

- ①スイッチカバーを左右のどちらかにスライドさせて断定スイッチを押します。
- ②119番に通報し、状況に応じて避難誘導や初期消火などをおこないます。



断定スイッチとは

火災時に、簡単な操作で停止や遮断に設定された以下のスイッチを一斉に解除できるスイッチです。

地区音響（ベル）一時停止、地区音響完全停止、起動遮断、非常放送移報停止、移報停止1～4、一括連動移報停止

※注意：移報停止スイッチの種別がロックスイッチに設定されていた場合は解除しません。



補足

- ・断定スイッチを押すと、火災第2報や発信機発報が発生した場合と同じ状態になります。（火災確認信号が出力され、非常放送が鳴動します。）
- ・正常時は操作できません。

■ 火災状態の復旧

警告



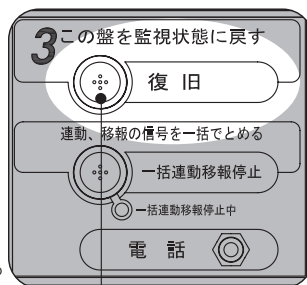
禁止

火災が鎮火する前に盤の復旧操作をおこなわないでください。火災拡大の状況が把握できなくなります。

火災が発生した場所の状況を確認した結果、火災でない場合は次の手順に従い操作をしてください。

■保守用スイッチカバーを開けて操作してください。

- ①火災警報の原因を取り除き、3番の復旧スイッチを押します。（→P72）
感知器、発信機などが作動状態の場合は、3番の復旧スイッチを押しても再度、火災発報します。
- ②作動した防火戸や非常放送設備などは、必要に応じて移報停止スイッチなどを停止にしてください。（→P42）
- ③作動した機器（防火戸など）ごとで復旧をおこなってください。
- ④復旧後は、必ず移報停止スイッチなどを元に戻し、スイッチ注意灯が点滅していないことを確認してください。



復旧スイッチ

障害音響が鳴ったとき

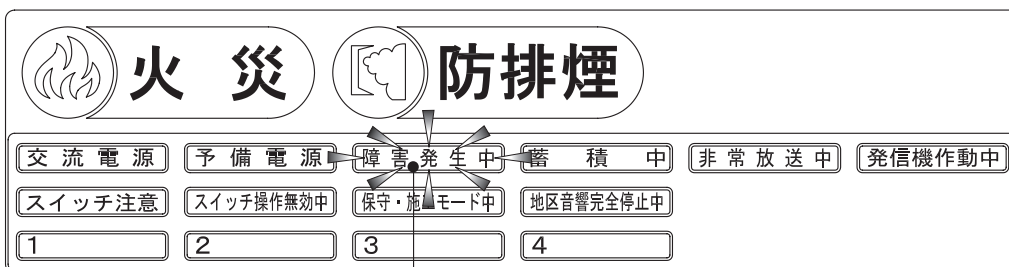
警告



必ずおこなう

盤が故障したときはすみやかに点検資格者に修理を依頼してください。故障を放置すると正常に機能しません。

障害音響が鳴ったらあわてずに障害内容を確認してください。
(例：感知器線の断線の場合)



①障害発生中灯

②障害表示中灯

②③表示窓

- ①障害発生中灯が点滅しスピーカーが鳴動します。
「ピンポン 障害が発生しています。」
※停電（エラーコード「E01」）が発生した場合は
障害音響は鳴動しません。

- ②保守用スイッチカバー内の障害表示中灯が点灯し、
表示窓にエラーコードが表示されます。

例1 感知器線の1回線目が断線した場合

E04 001

- ③障害が複数ある場合には、エラーコードの表示が自動で
切り替わります。

表示シフトスイッチを押すと、手動で表示を切り替えることができます。

例2 感知器線の1回線目が断線し、防排煙電源用（FD）ヒューズが断線した場合
「ピンポン 障害が発生しています。」

E04 001



E03 002

補足

音声案内スイッチを押すと、音声にて
詳細な障害内容をガイダンスします。
(→P31)

- ④「障害発生時の点検と処置」(→P67)に従い、障害の原因を取り除き復旧させ
てください。

エラーコード一覧表

表示窓(7セグ表示)		障害内容
左窓	右窓	
E 0 1	—	停電またはヒューズ断線 F1, F2
E 0 2	—	予備電源未接続またはヒューズ断線 FH1
E 0 3	0 0 1	地区音響電源用ヒューズ断線 (FB)
	0 0 2	防排煙電源用ヒューズ断線 (FD)
	0 0 3	付属電源用ヒューズ断線 (FI)
	0 0 4	表示灯電源用ヒューズ断線 (FP)
	0 0 5	中継器電源線異常
E 0 4	※※※	感知器線断線 ※※※は回線番号
E 0 5	0 0 1	非常放送マイク入力線断線
	0 0 2	非常放送マイク入力線短絡
E 0 6	※※※	火災試験異常 ※※※は回線番号
E 0 7	—	予備電源電圧異常または試験異常
E 0 8	0 0 1	内部メモリ異常 (内部データ破損)
	0 0 2	内部メモリ異常 (物件データ更新失敗)
	0 0 3	内部メモリ異常 (音声データ破損)
E 0 9	—	発信機確認線異常
E 2 8	—	主回路電圧異常
E 3 4	0 0 1	地絡障害 (C (コモン) とFG間の絶縁不良)
	0 0 2	地絡障害 (24VとFG間の絶縁不良)
E 4 2	0 0 1	ユニット異常 1
	0 0 2	ユニット異常 2
	0 0 3	ユニット異常 3
E 4 6	0 0 1	USB異常 (過電流検出)
	0 0 2	USB異常 (USB 認識失敗)
	0 0 3	USB異常 (物件データなし)
	0 0 4	USB異常 (物件データ異常)
	0 0 5	USB異常 (物件データ機種異常)
	0 0 6	USB異常 (物件データバックアップ異常)
	0 0 7	USB異常 (データ取得失敗)

注意: 製品によっては表示しないエラーコードもあります。

障害の処置方法は「障害発生時の点検と処置」(→P 67)を確認してください。

地区音響（館内のベルなど）を一斉に鳴らす

警告

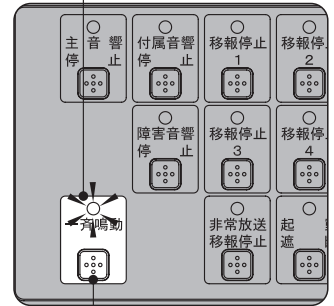


非常時、点検時以外は地区音響を鳴動させないでください。
混乱をまねく恐れがあります。

■保守用スイッチカバーを開けて操作してください。

- ①地区音響を一斉に鳴らすには、一斉鳴動スイッチを押します。
地区音響が館内一斉に鳴動します。
- ②一斉鳴動中灯が点灯します。
- ③停止するには再度地区音響一斉鳴動スイッチを押します。地区音響が停止します。

②一斉鳴動中灯



①③一斉鳴動スイッチ

補足

正常監視時は、もう一度スイッチを押すと一斉鳴動を停止できますが火災時は停止できません。

非常放送設備のマイク使用中の地区音響停止

火災 防排煙



非常放送中灯

非常放送設備のマイクを使用していると非常放送中灯が点灯し、地区音響が停止します。マイクを使用している間は、一斉鳴動スイッチを押しても地区音響は鳴動しません。マイクの使用が終了すると、地区音響が再鳴動します。

“電話です”と鳴ったとき

P型1級受信機（RPV-AAW、HAV-AAW）に対応しています。

注意

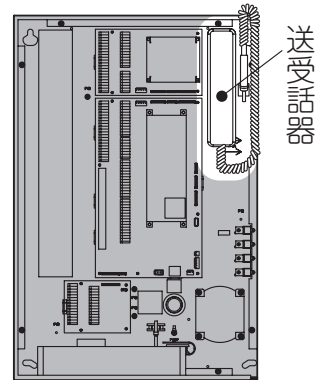


盤の電話は火災発生場所の発信機や表示盤などと通話するためのものです。消防署にはつながりません。

火災発生時などに発生場所付近の発信機や、表示盤の電話ジャックに送受話器のプラグを差し込むことで盤と通話ができます。

送受話器は盤内または盤の外に専用の電話器ケース（別売）にて設置しています。盤内に設置した場合は、使用時に扉を開けて取り出してください。

〈盤内の場合〉



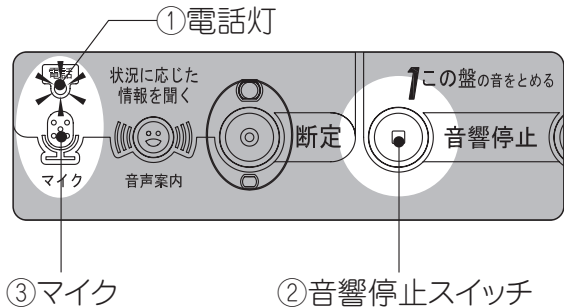
ハンズフリー機能を使用しての通話・送受話器を使用しての通話

運用機能編

電話ですと鳴ったとき

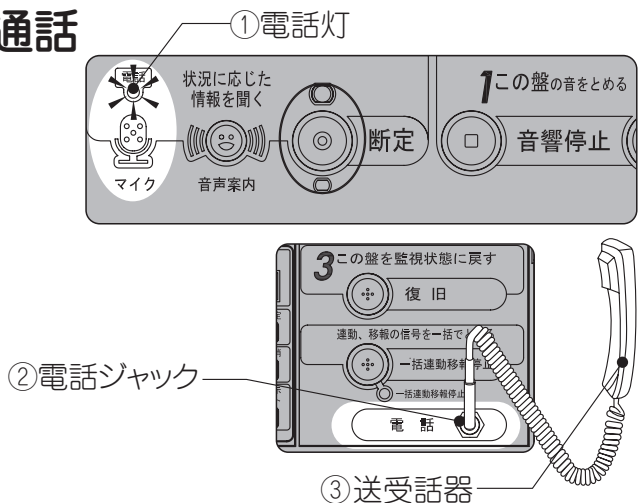
■ ハンズフリー機能を使用しての通話

- ① 電話灯が点灯し、電話呼び出し音が鳴動します。
「プルルルルル 電話です」
- ② 音響停止スイッチを押します。
電話呼び出し音が停止します。
- ③ マイクを使用し通話ができます。
通話する際は、マイクに向かって話してください。



■ 送受話器を使用しての通話



- ① 電話灯が点灯し、電話呼び出し音が鳴動します。
「プルルルルル 電話です」
- ② 保守用スイッチカバーを開けて、電話ジャックに送受話器のプラグを差し込みます。
電話呼び出し音が停止します。
- ③ 送受話器で通話ができます。



音声案内について

■ 音声案内とは

⚠ 注意

 注意	音声案内は操作する人を補助する機能です。 最終的な操作判断は状況にあわせて、操作する人がおこなってください。
 注意	音声案内でのガイダンス内容は一般的な内容となっています。 設置された建物と必ずしも一致するものではありません。

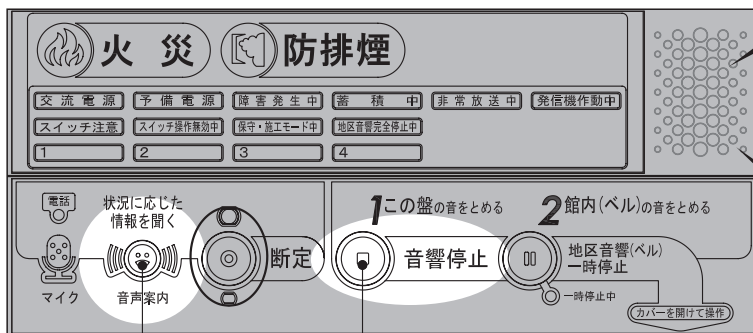
音声案内とは、火災発生時などに音声にて操作方法をガイダンスしたり、障害時に障害内容を音声にてガイダンスする機能です。ガイダンス内容に従い、盤を操作または確認することで適切な処置がおこなえます。

補足

試験表示スイッチ操作時や確認モード時に表示窓に表示された項目の内容をガイダンスすることができます。(→P56)

■ 火災発生時の音声案内

火災時などに操作方法がわからなくなった場合は、音響を停止した後、音声案内スイッチを押すと音声にて操作方法がガイダンスされます。
 ガイダンスをもう一度聞きたいときは再度、音声案内スイッチを押すと繰り返し聞くことができます。






①フーイ フーイ
フーイ
火災発生
発生場所を
確認してください

③音声案内スイッチ ②音響停止スイッチ

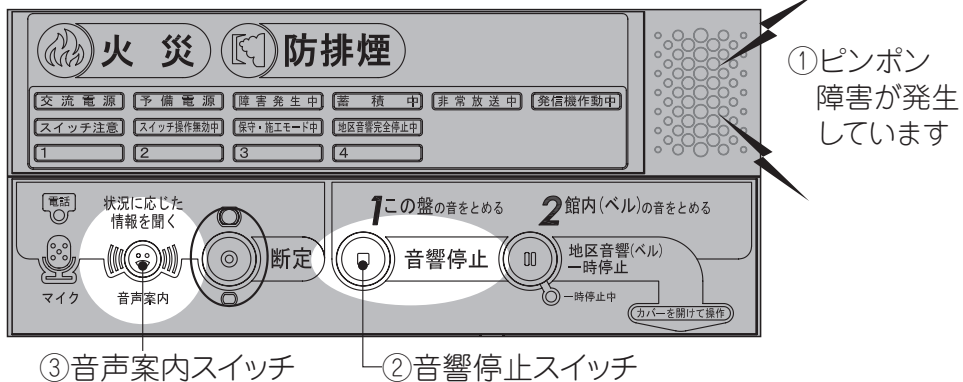
- ①火災警報音が鳴動しています。
- ②音響停止スイッチを押し、火災警報音を停止します。
音響停止誘導灯が点滅から消灯に変わります。
音声案内誘導灯が点滅します。
- ③音声案内スイッチを押します。
音声によりガイダンスします。ガイダンスを参考に状況にあわせて、盤の操作等をおこないます。

■ 障害発生時の音声案内

 警告	
 必ずおこなう	盤が故障したときはすみやかに点検資格者に修理を依頼してください。故障を放置すると正常に機能しません。
 感電注意	消防設備士などの資格者以外は盤内に手を触れないでください。感電・故障の恐れがあります。

障害時に音響を停止した後、音声案内スイッチを押すと音声にて詳細な障害内容がガイダンスされます。

ガイダンスをもう一度聞きたいときは再度、音声案内スイッチを押すと繰り返し聞くことができます。





- ① 障害音響が鳴動しています。
- ② 音響停止スイッチを押し、障害音響を停止します。
音響停止誘導灯が点滅から消灯に変わります。
音声案内誘導灯が点滅します。
- ③ 音声案内スイッチを押します。
音声により障害の内容をガイダンスします。

スイッチ操作無効について

■ スイッチ操作無効とは

⚠ 注意

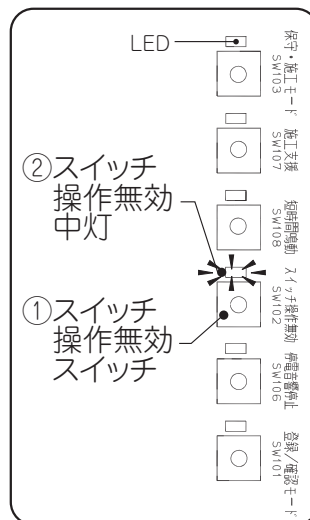
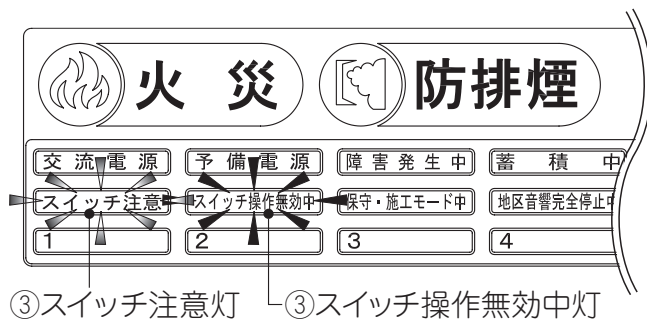
 <p>禁止</p>	<p>スイッチ操作無効機能は監視中に管理者以外の人が誤った操作をして、スイッチが定位でなくなることを防止する機能です。いたずらを防止する目的として使用しないでください。</p>
 <p>必ずおこなう</p>	<p>盤は常に人がいる場所に設置してください。 常に人がいない場所に設置することを目的として、スイッチ操作無効機能を使用しないでください。</p>

スイッチ操作無効は、盤面の音響停止スイッチと音声案内スイッチ以外のすべてのスイッチ操作が無効になります。

■ スイッチ操作無効の設定・解除方法

〈スイッチ操作無効の設定方法〉

- ① 盤内の共通基板上にあるスイッチ操作無効スイッチを押します。(→P39)
- ② 基板上的スイッチ操作無効中灯が点灯します。
- ③ 盤面のスイッチ操作無効中灯が点灯します。
盤面のスイッチ注意灯が点滅します。



正常監視状態がスイッチ操作無効の設定条件となります。

- ① 火災、防排煙火災状態でないこと
- ② 火災警報、防排煙火災警報の蓄積状態でないこと
- ③ 防排煙起動状態でないこと
- ④ 障害状態でないこと
- ⑤ スイッチが定位状態であること (スイッチ注意灯が点滅していない状態)
- ⑥ 各種試験中でないこと

〈スイッチ操作無効の解除方法〉

スイッチ操作無効を解除するには、再度スイッチ操作無効スイッチを押します。
なお、火災警報や障害など以下の条件では自動的に解除されます。

- ①火災、防排煙火災、防排煙確認、警報入力があった場合
- ②障害が発生した場合

補足

火災警報や障害などが原因でスイッチ操作無効が解除された後に、正常監視状態に戻っても、スイッチ操作無効は自動では再設定されません。
再設定をおこなう場合は、再度スイッチ操作無効スイッチを押してください。

こんなときは

■ 火災（避難）訓練をおこないたい

火災（避難）訓練をおこなう場合は、まず建物の防火管理者様または管理を委託された会社様と十分な打ち合わせをおこない、訓練の手順を決めてください。火災時の連動システムは個々の建物により異なり、訓練手順もさまざまです。訓練として火災報知設備を操作する場合は、建物の防火管理者様または管理を委託された会社様に、火災時の連動システムを確認したうえで実施してください。

補足

- ・ 一斉鳴動スイッチ（→P36）
感知器や発信機を作動させずに一斉に地区音響（館内のベルなど）を鳴動させることができます。
建物が地区音響の場合のみ使用できるスイッチです。（非常放送設備の場合は使用できません。）

■ くん煙殺虫剤を使いたい

くん煙殺虫剤を使用するときは、煙感知器内部に煙が入らないようにポリ袋などのビニールで感知器を覆ってください。くん煙剤の終了後には必ず換気をし、ビニールを取り除いてください。煙感知器内にくん煙剤の煙が入ると、感知器が作動し、盤や地区音響（館内のベルなど）が鳴動する場合があります。「火災状態の復旧（→P25）」の手順に従って盤を復旧してください。

火災（避難）

くん煙殺虫剤を使いたい。

運用・機能編

こんなときは

■ 停電になったときの対応

自動火災報知設備には消防法に定められている60分間の設備監視後10分間の設備作動が可能な予備電源装置（予備電源）が設置されています。

停電時には自動的に予備電源に切り替り、電源が戻れば予備電源は自動的に充電されます。

ただし、計画停電などにより、放電が頻繁に繰り返されると、充電が不足して予備電源での設備監視時間が短くなる場合がありますのでご注意ください。

停電時、予備電源にて動作中は1分間に1回ブザー音が鳴ります。

（盤内の停電音響停止スイッチがONの場合は鳴動しません。）

補足

停電が長時間継続すると…

- ・ 予備電源電圧低下などの障害警報をおこなうことがあります。
障害音響を止めるときは、音響停止スイッチを押してください。
- ・ 予備電源電圧が約15V以下になると、予備電源の供給を遮断し、機能が停止します。

停止後に復電する方法は以下のとおりです。

- ① 交流電源が復電した場合
- ② 十分に充電された予備電源を接続し、盤内の予備電源遮断解除スイッチ（→P40）を操作した場合

■ 感知器のお手入れについて

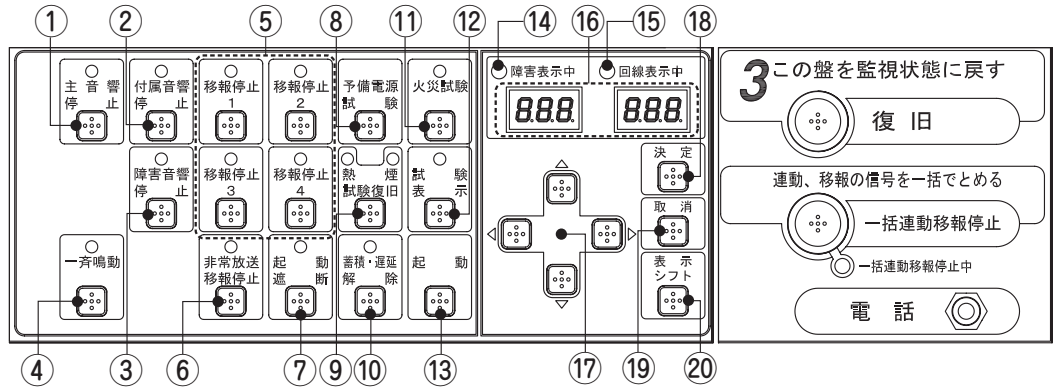
感知器表面の汚れを落とすときは水に浸して固く絞った布で表面を軽く拭き、埃や水が感知器内部に入らないようにしてください。

洗剤、殺虫剤、漂白剤、アルカリ性溶液、ベンジン、シンナー及びアルコールは感知器表面を傷めますので絶対に吹きかけないでください。誤作動や故障の原因となります。

各部の名称とはたらき

保守用スイッチカバー内操作部

(製品によっては、本図と異なります。製品と照らし合わせて、お読みください。)



①主音響停止スイッチ

スピーカーから発する主音響(火災の音響)を停止するときに使用します。

主音響停止中灯(赤色)

主音響が停止中に点灯します。

②付属音響停止スイッチ

スピーカーから発する付属音響(防排煙火災、蓄積、確認入力、警報入力、諸表示入力の音響など)を停止するときに使用します。

付属音響停止中灯(赤色)

付属音響が停止中に点灯します。

③障害音響停止スイッチ

スピーカーから発する障害音響を停止するときに使用します。

障害音響停止中灯(赤色)

障害音響が停止中に点灯します。

④一斉鳴動スイッチ

地区音響(館内のベルなど)を一斉に鳴らすときに使用します。

一斉鳴動中灯(赤色)

地区音響が一斉に鳴っているときに点灯します。

⑤移報停止スイッチ1~4

他設備などへの移報を停止するときに使用します。設定により、スイッチの種別(他設備への移報を出力するスイッチなど)を変更できます。(→工事説明書P53)

移報停止中1~4灯(赤色)

移報停止中に点灯します。なお、スイッチ種別をロックスイッチやノンロックスイッチに設定したときは、制御中に点灯します。

⑥非常放送移報停止スイッチ

非常放送への移報を停止するときに使用します。

非常放送移報停止中灯(赤色)

非常放送の移報停止中に点灯します。

⑦起動遮断スイッチ

防排煙機器の起動を遮断するときに使用します。

起動遮断中灯(赤色)

防排煙機器の起動遮断中に点灯します。

⑧ 予備電源試験スイッチ

予備電源試験をおこなうときに使用します。(→ P48)

⑨ 試験復旧スイッチ

点検時などに感知器発報をおこなったあと、盤を自動で復旧させるときに使用します。試験復旧の設定中は、火災信号の蓄積機能、障害の遅延機能は解除されます。試験復旧スイッチには煙と熱の設定があり、スイッチを押すたびに「煙」→「熱」→「定位」と順次切り替わります。(→ P52)

試験復旧（煙、熱）中灯（赤色）

試験復旧の設定中に、設定されている側の表示灯が点灯します。

⑩ 蓄積・遅延解除スイッチ

火災信号の蓄積機能や障害の遅延機能を解除するとき使用します。蓄積解除状態では、火災信号などが入るとすぐに発報します。

蓄積・遅延解除中灯（赤色）

蓄積・遅延解除機能の設定中に点灯します。

⑪ 火災試験スイッチ

火災試験をおこなうときに使用します。(→ P46、P47)

火災試験中灯（赤色）

火災試験中に点灯します。

⑫ 試験表示スイッチ

火災試験と予備電源試験以外の試験（蓄積機能試験、手動自己診断など）や状態表示（感知器線障害表示など）、履歴表示のときに使用します。

■ 試験表示項目一覧

No.	表示窓(左)	表示窓(右)	試験表示項目	No.	表示窓(左)	表示窓(右)	試験表示項目
1	D L Y	C 50	蓄積機能試験	5	E A	S N D	地区音響回線鳴動表示
2	S L F	T S T	手動自己診断	6	D S P	T S T	表示試験(※)
3	E V T	L O G	操作発報履歴表示	7	F G	T S T	地絡試験(※)
4	T R B	L	感知器線障害表示	(※) 保守・施工モード中(→P41)のみ表示します			

試験表示灯（赤色）

試験表示中に点灯します。

⑬ 起動スイッチ

防排煙自動閉鎖装置（防火戸、防火シャッター、ダンパーなど）や自動開放装置（排煙口など）地区音響（館内のベルなど）を盤から手動で遠隔制御するとき使用します。地区音響の遠隔制御は保守・施工モード中に有効です。

⑭ 障害表示中灯（赤色）

表示窓にエラーコードを表示しているときに点灯します。

⑮ 回線表示中灯（赤色）

表示窓に回線番号を表示しているときに点灯します。

⑯ 表示窓（7 セグメント）

回線選択中の回線番号や障害発生時のエラーコードなどを表示します。

⑰ 十字スイッチ

防排煙連動機器の起動、火災試験をおこなうときの回線選択などに使用します。

⑱ 決定スイッチ

十字スイッチで選択した番号を決定するとき使用します。

⑲ 取消スイッチ

十字スイッチで選択した番号を取消するとき使用します。

⑳ 表示シフトスイッチ

表示窓に複数の表示項目がある場合、次の番号を表示するとき使用します。

■ 基板配置図

⚠ 警告



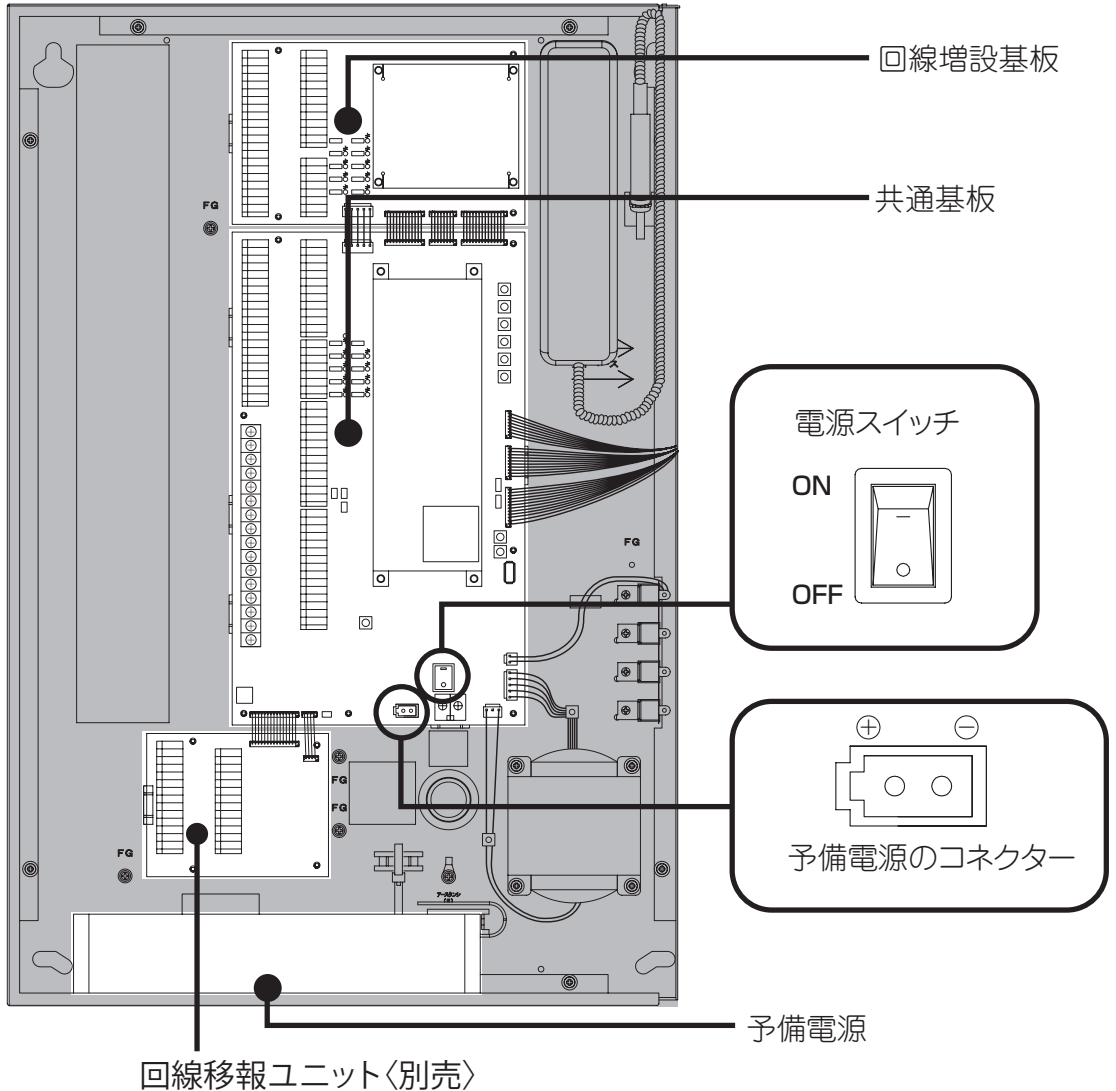
基板の設定や回線移報ユニット組込作業は、消防設備士などの有資格者がおこなってください。



盤内を操作するときは、人体に帯電した静電気の除去を必ずおこなってください。

製品によっては、基板配置が異なります。

扉を開けた状態の盤本体



■ 基板の操作部（スイッチ、ショートピン）

⚠ 警告



必ずおこなう

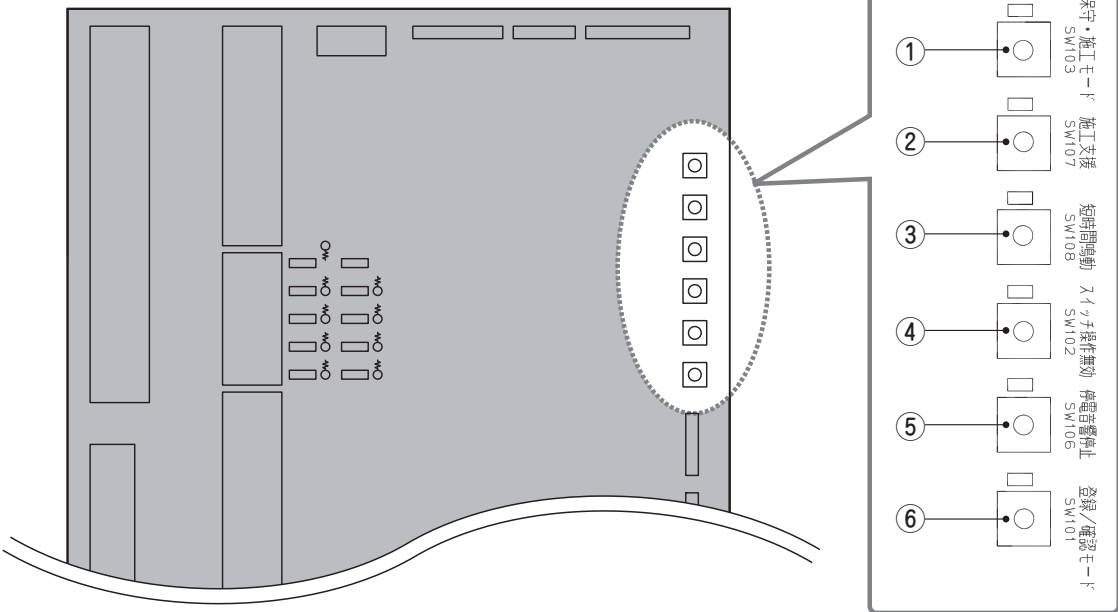
基板の設定や回線移報ユニット組込作業は、消防設備士などの有資格者がおこなってください。



必ずおこなう

盤内を操作するときは、人体に帯電した静電気の除去を必ずおこなってください。

共通基板(上部)



① 保守・施工モードスイッチ

施工・点検・試験の支援機能として、使用します。（→P41）

② 施工支援スイッチ

感知器や発信機などの作動回線を盤から離れた場所より確認するときに使用します。（→工事説明書P22）

③ 短時間鳴動スイッチ

地区音響を短い時間鳴動させたいときに使用します。（→P45）

④ スイッチ操作無効スイッチ

盤面の音響停止スイッチと音声案内スイッチ以外のすべてのスイッチを無効にするときに使用します。（→P32）

⑤ 停電音響停止スイッチ

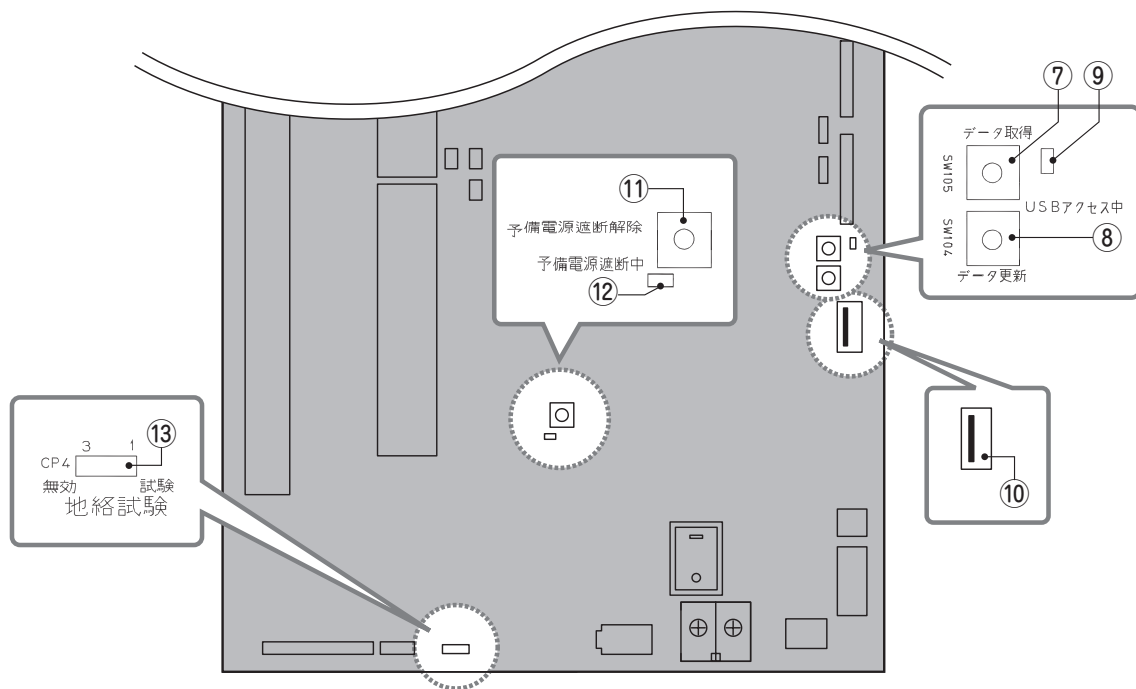
停電中、1分間に1回鳴動するブザー音を停止するときに使用します。

⑥ 登録/確認モードスイッチ

登録モード：
回線種別、地区音響区分鳴動、リリースの連動などの各種設定を変更するときに使用します。（→工事説明書P29）

確認モード：
登録モードで設定されている内容を確認するときに使用します。（→P56）

共通基板(下部)





- ⑦データ取得スイッチ
USBメモリーに履歴や物件データの情報を吸い上げるときに使用します。
- ⑧データ更新スイッチ
USBメモリーにより、物件データを更新するときを使用します。
- ⑨USBアクセス中灯（赤色）
USBメモリーにアクセスしているときに点灯します。
- ⑩USBジャック
USBメモリーを接続するときを使用します。
- ⑪予備電源遮断解除スイッチ
交流電源が供給されていない状態で、十分に充電された予備電源を新たに接続して、盤を起動させるときに使用します。（→P35）
- ⑫予備電源遮断中灯（赤色）
交流電源が供給されていない状態で、予備電源を接続すると、点灯します。
- ⑬地絡試験設定（ショートピン）
地絡試験をおこなうときに使用します。（→P51）

保守・施工モードについて

■保守・施工モードとは

⚠ 注意

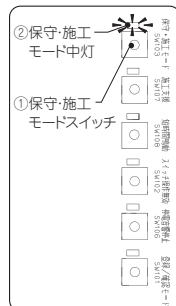
 禁止	保守、点検、施工時以外で、保守・施工モードに設定しないでください。火災時に地区音響（館内のベルなど）が鳴動しなかったり、防火戸や防火シャッターなどの連動機器が作動しなくなるため、避難や消火活動が大幅に遅れる危険があります。
 必ずおこなう	保守・施工モードは、自動で通常モードに戻ることはありません。作業終了後は、必ず設定を元に戻して、盤面の保守・施工モード中灯が消灯していることを確認してください。

このモードは、施工・点検・試験時の支援として、以下の機能が実行可能になります。

- 地区音響の遠隔制御 (→P44)
- 地区音響短時間鳴動 (→P45)
- 表示機能試験 (→ P50)
- 地絡試験 (→ P51)
- 電話呼出音の音量が下がる

「プルルルルル 電話です」の音量が小さくなります。

- ① 盤内の保守・施工モードスイッチを押します。(→ P39)
- ② 盤内の保守・施工モード中灯が点灯します。
- ③ 盤面の保守・施工モード中灯、地区音響完全停止中灯、スイッチ注意灯が点滅し、以下のスイッチが自動的に設定されます。



主音響停止、付属音響停止、障害音響停止、地区音響（ベル）一時停止、地区音響完全停止、移報停止1～4、非常放送移報停止、起動遮断、一括連動移報停止、試験復旧（煙）、蓄積・遅延解除



- ④ 1分間に1回ブザー音が鳴ります。

種別表示部

補足

移報停止スイッチのスイッチ種別がロックスイッチとノンロックスイッチに設定されていた場合は、自動的に設定されません。

■保守・施工モードの設定・解除方法

<保守・施工モードの設定方法>

- ③ スイッチ操作無効中でない状態で、保守・施工モードスイッチを押した場合
- ⑥ 保守・施工モードスイッチを押しながら、電源を入れた場合

<保守・施工モードの解除方法>

- ③ 保守・施工モード中に、保守・施工モードスイッチを押した場合
- ④ 保守・施工モード以外の全てのスイッチが定位状態になった場合
- ⑤ 断定スイッチ操作および自動断定になった場合
- ⑦ 電源を切った場合

補足

保守・施工モードの解除方法③の場合は、保守・施工モードスイッチを押す前のスイッチ状態に戻ります。また、⑦の場合は、電源を切る前のスイッチ状態に戻ります。

保守・施工モードの設定・解除方法は、

点検・試験編

保守・施工モードについて

点検・試験

■ 地区音響完全停止



警告



禁止

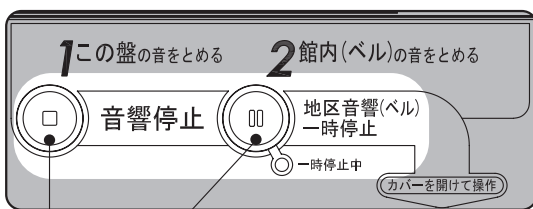
保守、点検以外で地区音響を完全停止にしないでください。火災時に地区音響（館内のベルなど）が鳴動しなくなるため、避難や消火活動が大幅に遅れる危険があります。

<地区音響完全停止の設定方法>

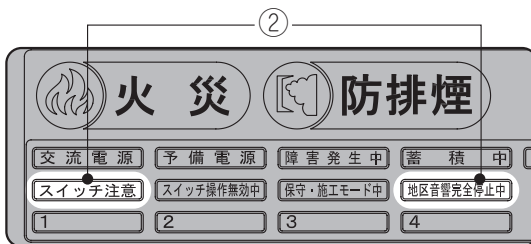
- ①1番の音響停止スイッチと2番の地区音響（ベル）一時停止スイッチを同時に3秒以上押します。
- ②スイッチ注意灯と地区音響完全停止中灯が点滅し、地区音響完全停止の状態となります。
- ③1分間に1回鳴動するブザー音が鳴ります。

<地区音響完全停止の解除方法>

- ①1番の音響停止スイッチと2番の地区音響（ベル）一時停止スイッチを同時に押します。
- ②スイッチ注意灯と地区音響完全停止中灯が消灯し、地区音響完全停止が解除となります。
- ③1分間に1回鳴動するブザー音が止まります。



① 操作表示部



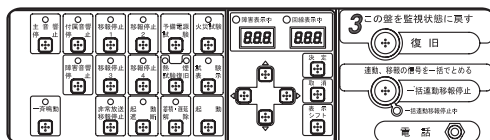
種別表示部

注意：地区音響完全停止の設定は、火災時の「断定スイッチ操作」または「自動断定機能による断定」により自動解除されます。

自動断定機能とは

「感知器と発信機」または「発信機2報」による発報で、断定スイッチを押したときと同じ動作をする機能です。（→P18 断定スイッチ）

※この機能を有効にするには、ショートピンの設定が必要です。（→工事説明書 P25）



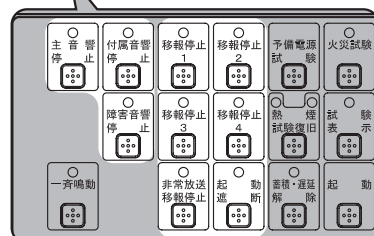
■ 連動停止、移報停止、音響停止

<停止の設定方法>

- ・必要に応じて、各種停止スイッチを押します。スイッチ上部の表示灯が点灯し、停止に設定されます。

<停止の解除方法>

- ・停止に設定されているスイッチを押します。スイッチ上部の表示灯が消灯し、停止が解除されます。



保守用スイッチカバー内操作部

連動停止、移報停止、音響停止、地区音響完全停止

点検・試験編

点検・試験

防排煙連動機器の遠隔制御

警告



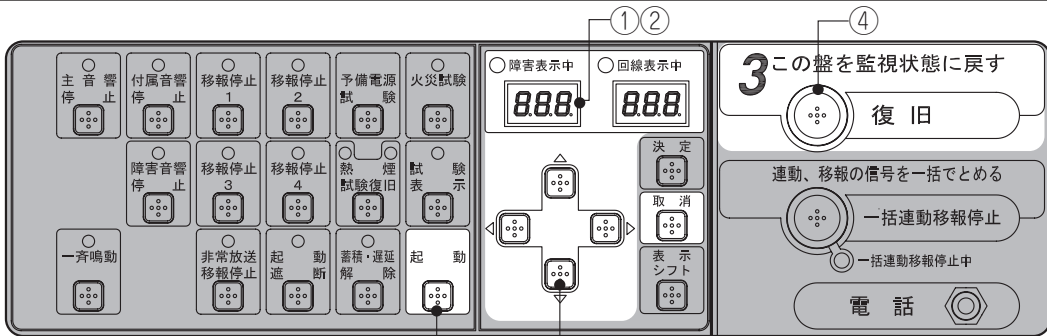
禁止

火災発生時、点検時以外は起動制御をおこなわないでください。起動操作をおこなうと防火戸、防火シャッターなどの連動機器が作動します。



禁止

起動制御をおこなうと防火戸、防火シャッターなどが連動します。作動時に防火戸、防火シャッター等をくぐったり、通過したりしないでください。はさまれる恐れがあります。

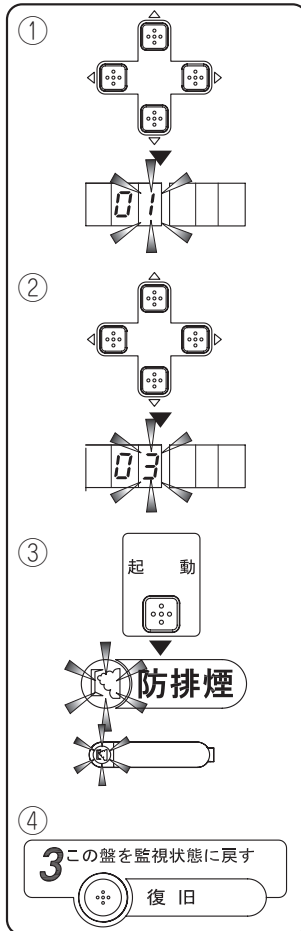


① 十字スイッチの上キーまたは下キーを押します。表示窓の左窓に、「01」と数字が表示され1桁目が点滅します。

② 十字スイッチで起動する回線を選択します。上・下キーで、点滅している桁の数字を増・減させます。左・右キーで、点滅している桁を替えます。




③ 起動スイッチを押します。表示されていた回線に起動制御がかかり、防排煙代表灯と作動表示灯が点滅します。制御が完了すると、作動表示灯が点灯に変わります。
※防排煙回線のみ有効な操作です。
※取消スイッチを押すと、表示窓の数字が消えます。

④ 3番の復旧スイッチを押し、起動状態を停止します。
⑤ 連動機器の作動状態を復旧させます。防排煙代表灯と作動表示灯が消灯し、正常監視状態に戻ります。

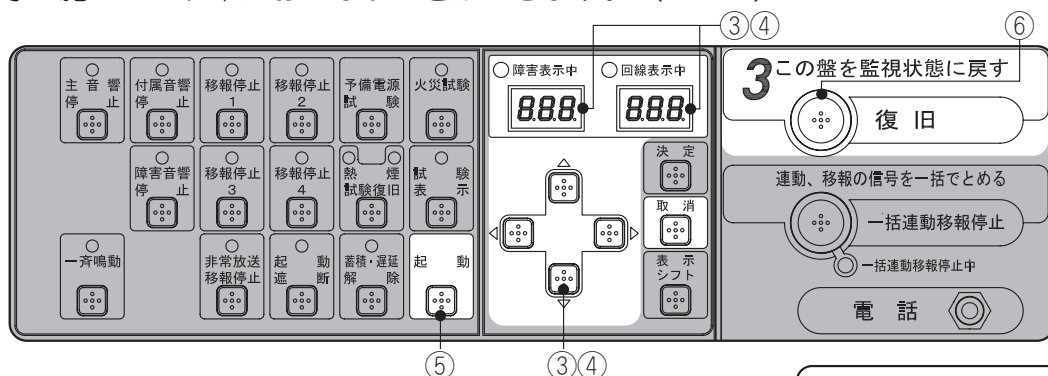


地区音響の遠隔制御

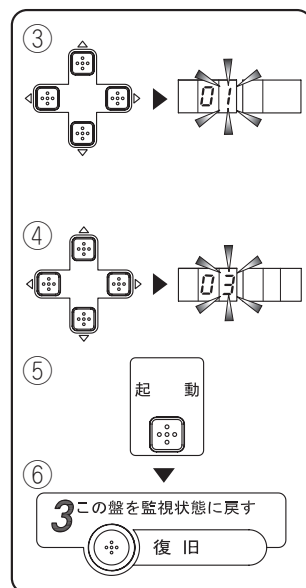
警告

 禁止	点検時以外は地区音響の遠隔制御をおこなわないでください。
 必ずおこなう	回線選択時は、必ず回線種別が「火報」であることを確認して操作してください。防排煙回線を誤って起動操作をおこなうと、防火戸、防火シャッターなどが作動します。
 必ずおこなう	点検終了後は必ず復旧操作をおこなってください。混乱をまねく恐れがあります。点検終了後、地区音響回線の鳴動状態を「地区音響回線鳴動表示」(→P55)で確認することをおすすめします。

この機能は、地区音響を回線ごとに鳴動させるものです。
 保守・施工モード中におこなうことができます。(→P41)



- ① 盤内の保守・施工モードスイッチを押します。(→P39)
 盤内の保守・施工モード中灯が点灯します。
- ② 地区音響完全停止と地区音響(ベル)一時停止を解除します。(→P42, P19)
- ③ 十字スイッチの上キーまたは下キーを押します。表示窓の左窓に、「01」と数字が表示され1桁目が点滅します。
- ④ 十字スイッチで鳴動させる回線を選択します。
 上・下キーで、点滅している桁の数字を増・減させます。
 左・右キーで、点滅している桁を替えます。
- ⑤ 起動スイッチを押します。
 表示されていた回線に鳴動制御がかかり、地区音響が鳴動します。
 ※取消スイッチを押すと、表示窓の数字が消えます。
- ⑥ 3番の復旧スイッチを押し、鳴動状態を停止します。
- ⑦ 地区音響の鳴動が止まります。






補足

短時間鳴動設定中においても、上記⑤の操作後に「復旧」スイッチを押し復旧処理をおこなってください。復旧スイッチを押さずに次の回線を遠隔制御すると、直前までに制御した回線も鳴動します。

■ 地区音響短時間鳴動

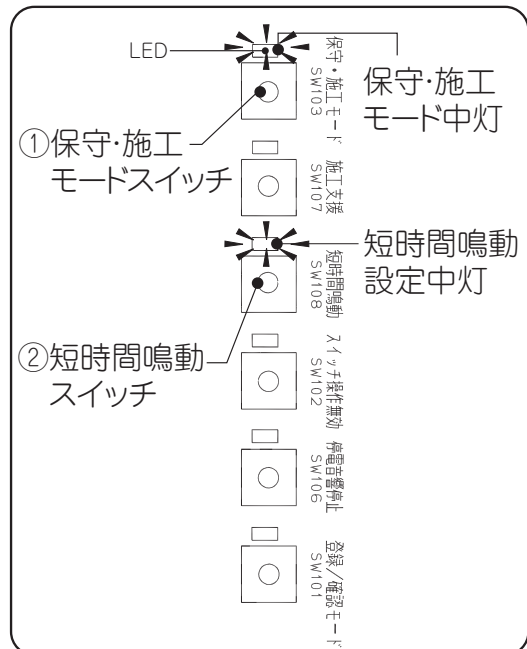
⚠ 警告

 禁止	点検時以外は地区音響の短時間鳴動をおこなわないでください。
 必ずおこなう	試験終了後は、必ず設定したスイッチを元に戻してください。 火災時に地区音響（館内のベルなど）が短い時間しか鳴動しなくなるため、避難や消火活動が大幅に遅れる危険があります。
 必ずおこなう	試験は「試験復旧」（→ P52）に設定しておこなってください。

この機能は、地区音響を短い時間鳴動させる（地区音響停止操作をしなくても自動的に地区音響が停止する）ものです。

保守・施工モード中におこなうことができます。（→ P41）

- ① 盤内の保守・施工モードスイッチを押します。（→ P39）盤内の保守・施工モード中灯が点灯します。
- ② 盤内の短時間鳴動スイッチを押します。短時間鳴動設定中灯が点灯します。
- ③ 地区音響完全停止を解除します。（→ P42）
- ④ 感知器の作動や一斉鳴動スイッチ操作などで地区音響が鳴動します。
- ⑤ 地区音響は約 1 秒間鳴動した後、自動的に地区音響（ベル）一時停止になります。
- ⑥ さらに他の地区音響が鳴動した場合は、再度地区音響が約 1 秒間鳴動し、地区音響（ベル）一時停止になります。



試験

手動火災試験

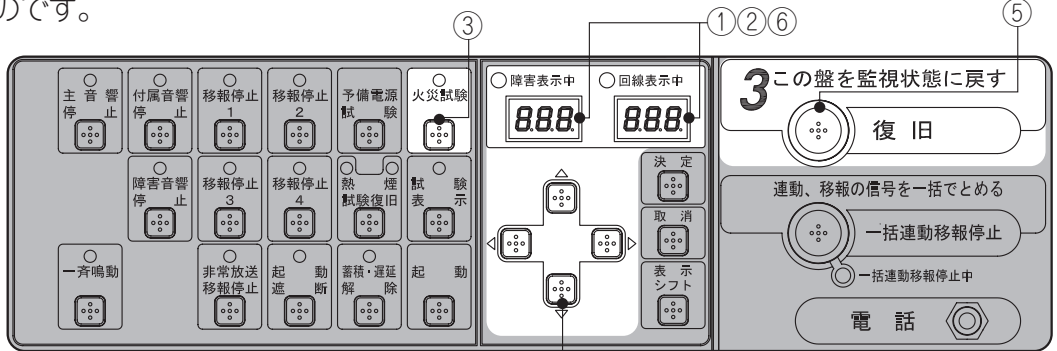
警告



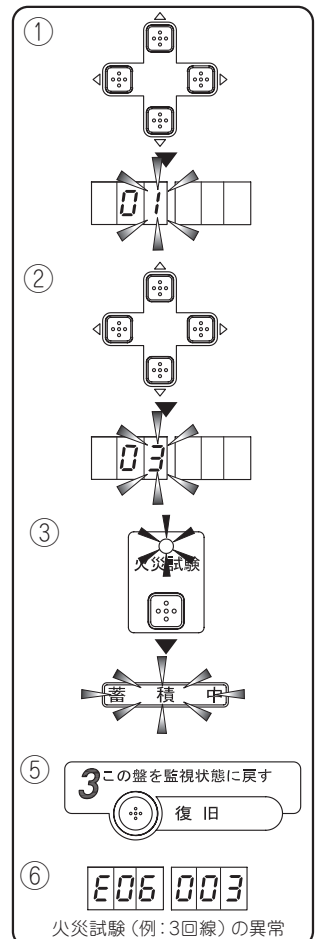
必ずおこなう

試験時は主音響、地区音響、防排煙連動機器、各種移報出力が作動します。必要に応じて停止設定してください。試験終了後は設定したスイッチを必ず戻してください。

この試験は、火災信号を受信したときに、表示や音響が正常に動作するか確認するためのものです。



- ① 十字スイッチの上キーまたは下キーを押します。
表示窓の左窓に、「01」と数字が表示され1桁目が点滅します。
- ② 十字スイッチで試験する回線を選択します。
上・下キーで、点滅している桁の数字を増・減させます。
左・右キーで、点滅している桁を替えます。
- ③ 火災試験スイッチを押します。
火災試験中灯が点灯し、種別表示部の蓄積中灯が点灯します。
- ④ 約8秒後に選択した回線が作動します。
- ⑤ 通常の作動時と同じ動作をすれば正常です。
3番の復旧スイッチを押して、正常監視状態に戻します。
- ⑥ 異常の場合は、表示窓に「E06」とエラーコードが表示されます。
エラーコードが表示されたときは「障害発生時の点検と処置」を参照してください。(→P67)
- ⑦ 障害の発生状況を確認してから、エラーコード「E06」は3番の復旧スイッチを押して消してください。



自動火災試験

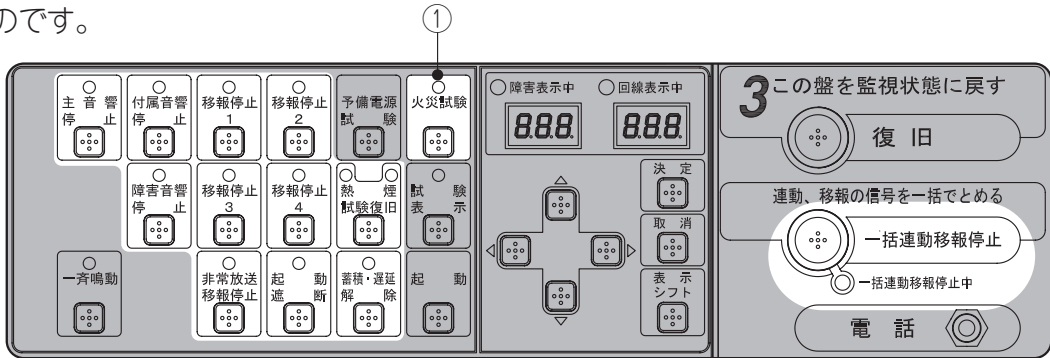
⚠ 注意



注意

自動火災試験はシステムでの動作が正常であることを確認するためのものではありません。定期点検などの試験は端末からの発報によりおこなってください。

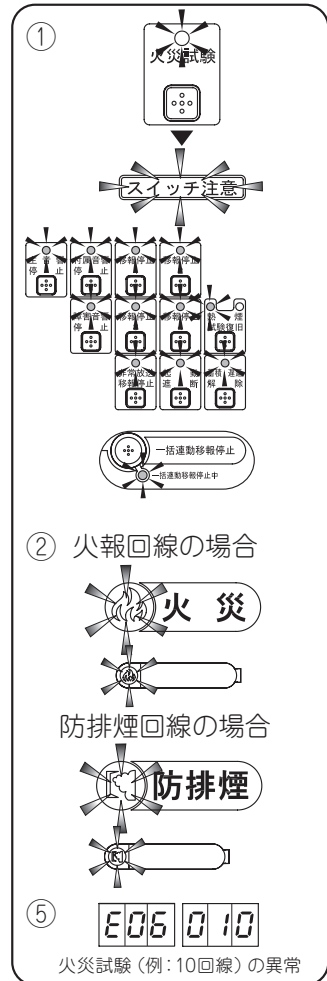
この試験は、火災信号を受信したときに、表示が正常に動作するか自動で確認するためのものです。



- ① 回線を選択せずに、火災試験スイッチを押します。
火災試験中灯が点灯します。
スイッチ注意灯が点滅し、以下のスイッチが自動的に停止や遮断に設定されます。

主音響停止、付属音響停止、移報停止1~4、障害音響停止、非常放送移報停止、起動遮断、試験復旧（熱）、地区音響（ベル）一時停止、蓄積遅延解除、地区音響完全停止、一括連動移報停止

- ② 1回線目より自動で火災試験を順次おこないます。
火災試験をおこなっている回線種別の代表灯と、地区表示灯が点滅します。
- ③ 全回線の火災試験が終わった後に、地区表示灯以外のすべての表示灯が3秒間点滅します。
- ④ 試験が終了すると、各停止設定は試験前の状態に戻ります。
- ⑤ 試験異常が発生した場合、障害発生中灯が点滅します。試験が終了すると、障害音響が鳴動し、表示窓にエラーコード「E06」を表示します。
- ⑥ 障害の発生状況を確認してから、エラーコード「E06」は3番の復旧スイッチを押して消してください。



補足

- ・試験中に異常が発生しても試験を継続します。
- ・自動火災試験は次の状態のときはおこなえません。火災中、蓄積中、復旧動作中、起動中

試験（自動火災試験）

点検・試験編

点検・試験

予備電源試験

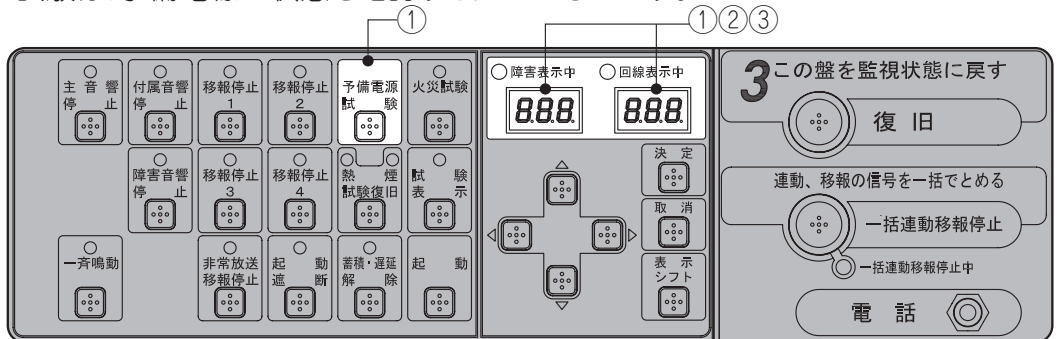
⚠ 注意



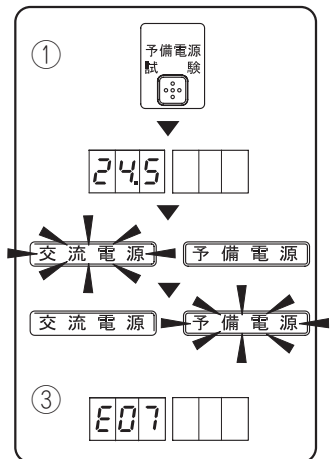
禁止

むやみに予備電源試験をすることはやめてください。
予備電源の寿命が減り、実際の停電時に正しく動作しなくなる恐れがあります。

この試験は、予備電源の状態を確認するためのものです。



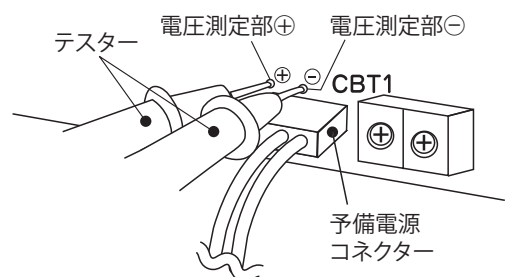
- ① 予備電源試験スイッチを押し、そのまま押し続けます。
予備電源の電圧が表示窓に表示されます。
電圧が正常であれば、2秒後に全負荷が接続され、交流電源灯が消灯し、予備電源灯が点灯します。
- ② 表示窓の電圧を確認し約 20.5V 以上であれば正常です。
予備電源試験スイッチを離してください。
- ③ 予備電源の電圧が約 20.4V 以下の場合には表示窓に「E07」とエラーコードが表示されます。
エラーコードが表示されたときは、「障害発生時の点検と処置」を参照してください。(→P67)
- ④ 障害の発生状況を確認してから、エラーコード「E07」は3番の復旧スイッチを押して消してください。



■ 予備電源電圧をテスターで測る場合

右図のように盤内の予備電源のコネクター直近にある電圧測定部にテスターを当ててください。

※注意：テスターで当たるときに、電圧測定部以外の部品に触れないように、十分に注意してください。故障の原因になります。



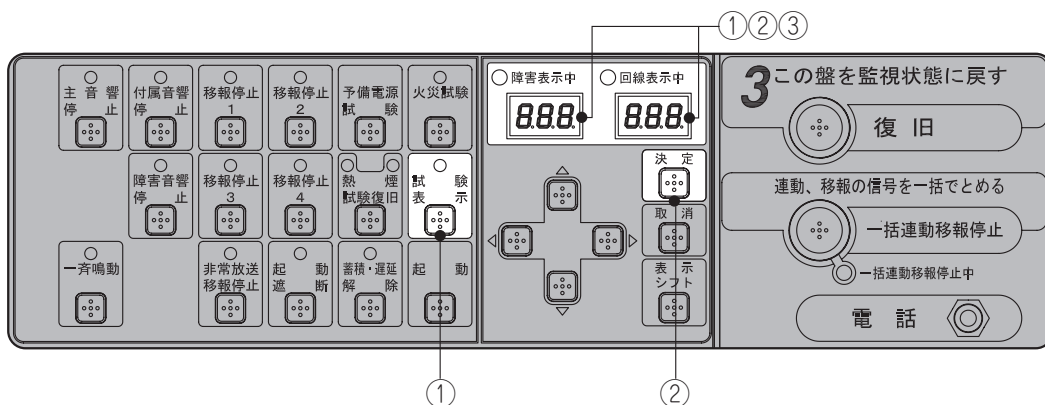
⚠ 注意 (推奨事項)

予備電源には寿命があります。5年を目処に交換してください。
 停電時、正常に機能しない場合があります。

ご使用済みの予備電源は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで、
 リサイクル協力店にご持参ください。

蓄積機能試験

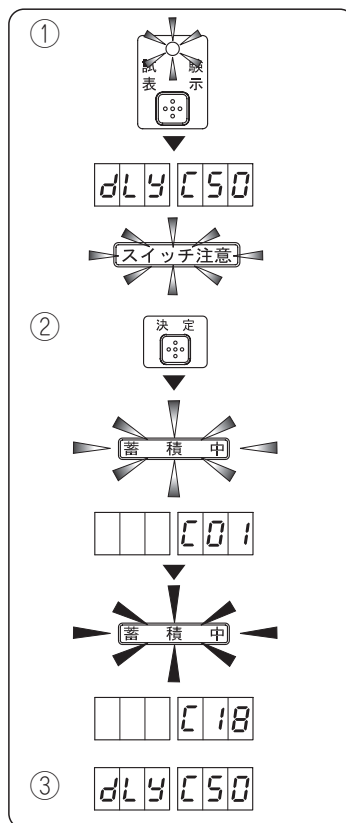
この試験は、蓄積機能の時間を確認するためのものです。



① 試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。表示窓に「DLY」「C50」を表示します。

② 決定スイッチを押し、試験を開始します。蓄積中灯が点灯し、蓄積時間のカウント表示が表示窓（右）に表示されます。蓄積中灯は約18秒後に点滅に変わり、約48秒で消灯します。

③ 蓄積時間のカウント表示が終了すると、表示窓は試験前の状態に戻ります。



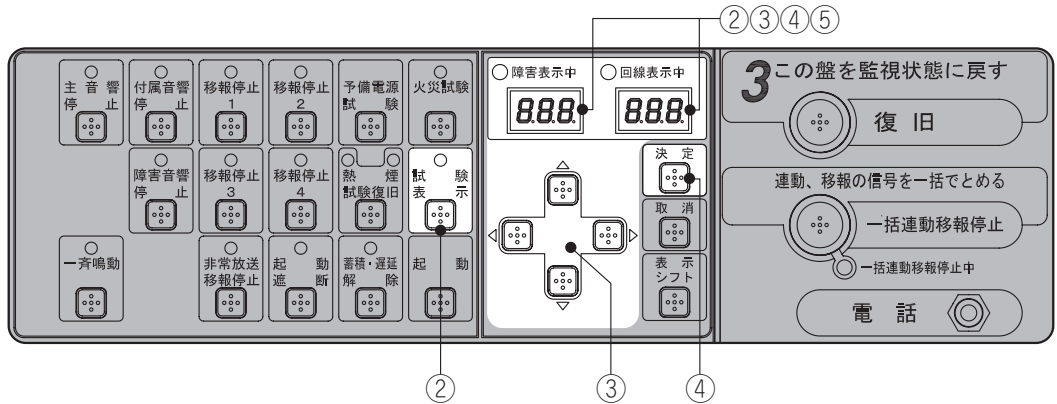
試験
 (予備電源試験)
 蓄積機能試験

点検・試験編

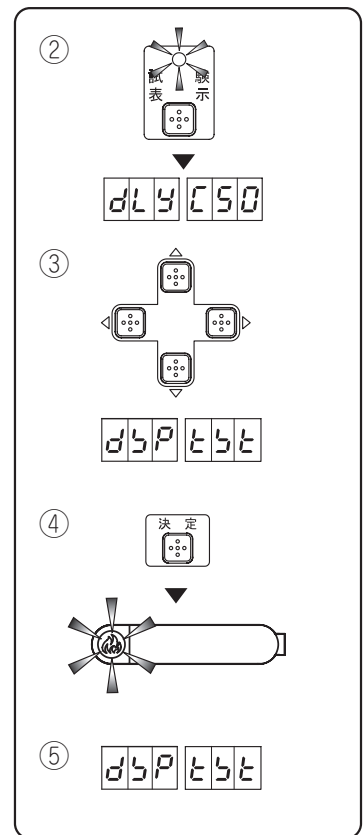
点検・試験

表示機能試験

この試験は、盤面にあるすべての表示灯が正常に動作するか確認するものです。保守・施工モード中におこなうことができます。(→P41)



- ① 盤内の保守・施工モードスイッチを押します。(→P39)
- ② 試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、表示窓に「DLY」「C50」を表示します。
- ③ 十字スイッチ(上、下キー)を押して、表示窓に「DSP」「TST」を表示します。
- ④ 決定スイッチを押し、試験を開始します。
1～10回線の地区表示灯が一斉に1秒間点滅し、次に11～20回線の地区表示灯が一斉に1秒間点滅します。
その後、地区表示灯以外の表示灯が3秒間点滅し、全て消灯します。
- ⑤ 試験が終了すると、表示窓は試験前の状態に戻ります。



地絡試験

警告



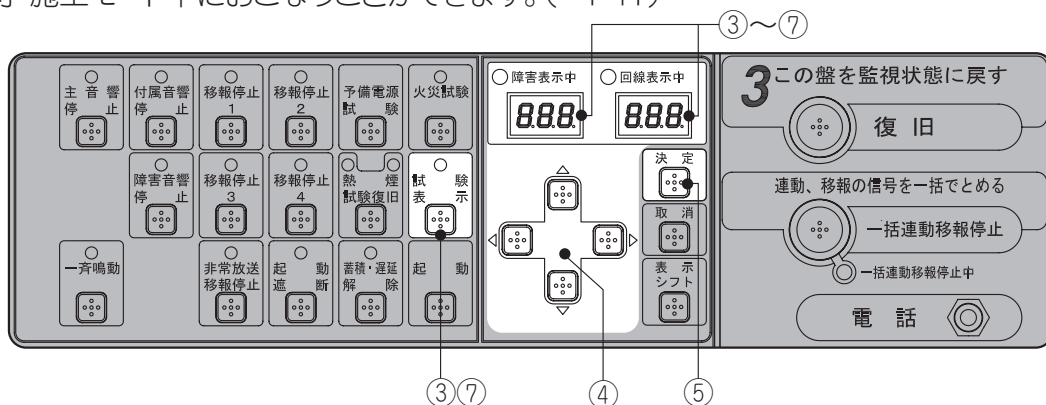
必ずおこなう

試験前に盤内の地絡試験設定（ショートピン）を「試験」に設定してください。

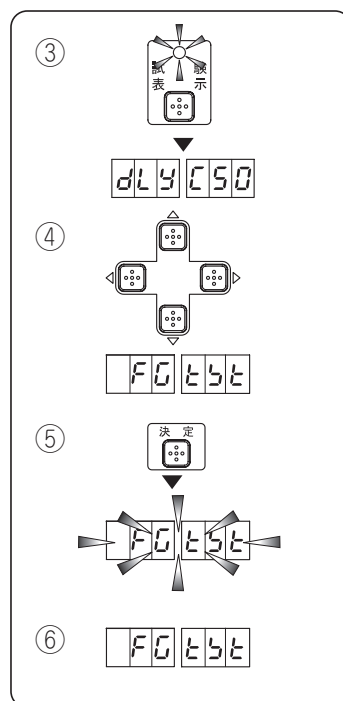
「無効」設定では正しく試験をおこなえません。
試験終了後、設定したショートピンを元に戻してください。

この試験は、感知器線(L)や感知器コモン線(C)などとFGの絶縁が低下して、感電や焼損の危険がないか確認するためのものです。

保守・施工モード中におこなうことができます。(→P41)

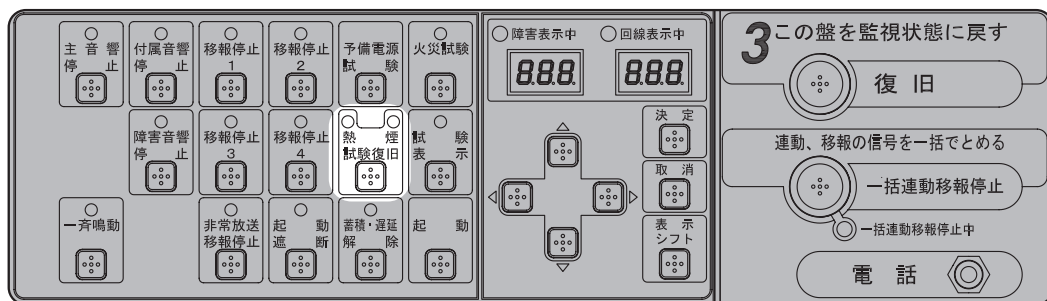


- ① 盤内の地絡試験設定(ショートピン)を「試験(1-2ショート)」に設定します。(→P40)
- ② 盤内の保守・施工モードスイッチを押します。(→P39)
- ③ 試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、表示窓に「DLY」「C50」を表示します。
- ④ 十字スイッチ(上、下キー)を押して、表示窓に「FG」「TST」を表示します。
- ⑤ 決定スイッチを押し、試験を開始します。
試験中は表示窓が点滅します。
- ⑥ 試験は約5秒で終了し、表示窓は試験前の状態に戻ります。
- ⑦ 異常が発生した場合は、障害発生中灯が点滅し、障害音響が鳴動します。
※試験表示スイッチを押すと、表示窓に「E34」とエラーコードが表示されます。
「障害発生時の点検と処置」(→P67)を参照してください。
障害発生状況を確認してから、エラーコード「E34」は3番の復旧スイッチを押して消してください。
- ⑧ 盤内の地絡試験設定（ショートピン）を「無効(2-3ショート)」に戻します。



試験復旧機能

この機能は、発報による火災動作の保持を自動的に復旧させる機能です。定期点検時など、実際に感知器・発信機を発報させてシステム全体の作動試験をおこなうときに、本機能を使うと効率よく作業がおこなえます。なお、試験復旧では蓄積機能は無効となります。



試験復旧(煙)

火災発報2秒後に自動的に復旧します。

- ① 試験復旧スイッチを押します。試験復旧(煙)中灯が点灯します。
- ② 感知器などを作動し点検をおこないます。火災発報2秒後に自動復旧します。
- ③ 試験復旧スイッチを押します。試験復旧(熱)中灯が点灯します。
- ④ 再度、試験復旧スイッチを押します。試験復旧中灯が消灯し、正常監視状態に戻ります。

試験復旧(熱)

火災発報後、発報信号が無くなると自動的に復旧します。
(一部の熱感知器(自己保持型)では、本機能を適用できません。)

- ① 試験復旧スイッチを押します。試験復旧(煙)中灯が点灯します。
- ② 再度、試験復旧スイッチを押します。試験復旧(熱)中灯が点灯します。
- ③ 感知器などを作動し点検をおこないます。火災発報後に感知器が復旧すると自動的に復旧します。
- ④ 試験復旧スイッチを押します。試験復旧中灯が消灯し、正常監視状態に戻ります。

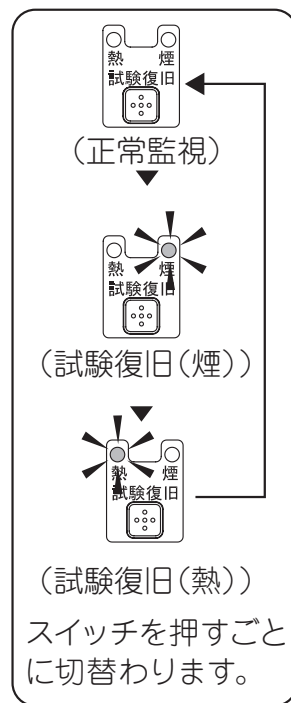
補足

試験復旧機能は、開始から2時間経過すると自動的に終了します。ただし、2時間経過以前にスイッチ操作すると、この操作から1時間延長できます。

- ① 試験復旧スイッチを押した後、無操作が2時間続いた場合



- ② 試験復旧スイッチを押した後、1時間以上経過時に試験復旧スイッチ以外のスイッチが押された場合



自己診断

定期自己診断

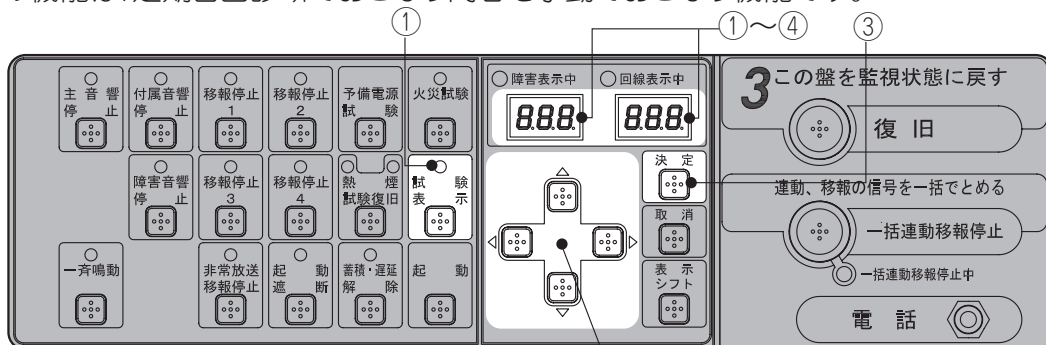
この機能は、盤のおもな機能が正常であることを確認するために、自動で1週間(168時間)ごとに、自動火災試験と予備電源試験をおこなう機能です。通常の自動火災試験と異なり代表灯、地区表示灯などの表示灯は点灯しません。

補足

- ・予備電源試験中は、交流電源灯が消灯し、予備電源灯が点灯します。
- ・定期自己診断の実施日(曜日、時間)は登録モードにて設定することができます。(→工事説明書P52)

手動自己診断

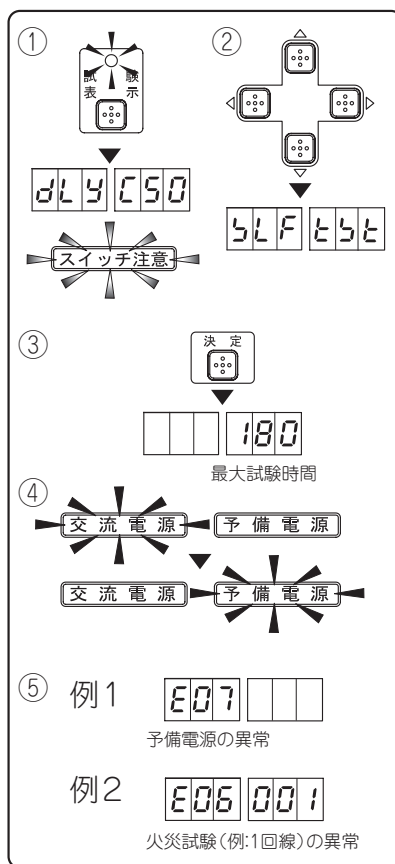
この機能は、定期自己診断でおこなう内容を手動でおこなう機能です。



- ① 試験表示スイッチを押します。
試験表示中灯が点灯、スイッチ注意灯が点滅します。
表示窓に「DLY」「C50」を表示します。
 - ② 十字スイッチ(上、下キー)を押して表示窓に「SLF」「TST」を表示します。
 - ③ 決定スイッチを押します。
表示窓の右窓に「180」を表示し、試験終了までの時間(秒数)をカウントダウン表示します。
 - ④ 予備電源試験を開始します。
電圧が正常であれば、2秒後に全負荷が接続され、交流電源灯が消灯し、予備電源灯が点灯します。
 - ⑤ 予備電源試験は20秒間おこないます。
自動で火災試験を順次おこないます。
試験の結果が正常な場合は、表示窓が試験前の状態に戻ります。
- 例1 予備電源が異常の場合は表示窓に「E07」とエラーコードが表示されます。
- 例2 自動火災試験異常の場合は表示窓に「E06」とエラーコードが表示されます。

補足

試験終了時は、カウントダウン中でもカウントダウン表示を終了します。

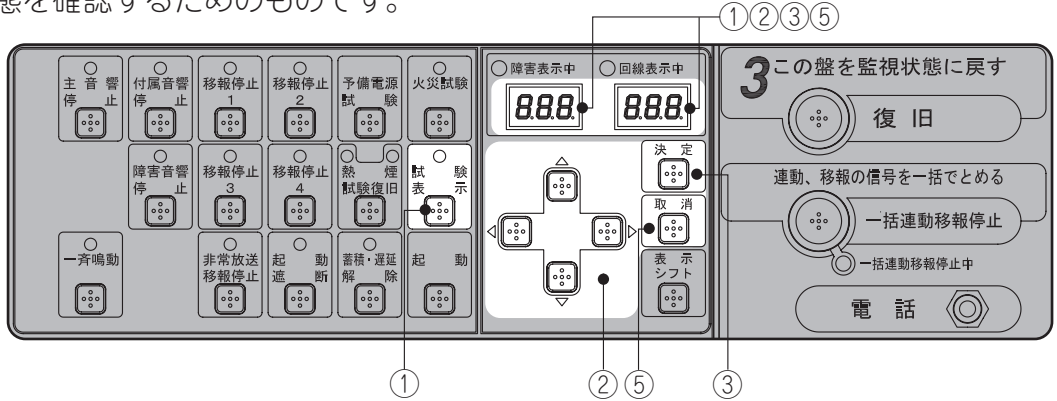


※エラーコードが表示されたときは、障害発生時の点検と処置を参照してください。(→P67)
障害の発生状況を確認してからエラーコード「E06」、「E07」は3番の復旧スイッチを押して消してください。

状態表示

感知器線障害表示

この表示は、感知器線断線および火災試験異常になっている回線がないか全回線の状態を確認するためのものです。



①試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。表示窓に「DLY」「C50」を表示します。

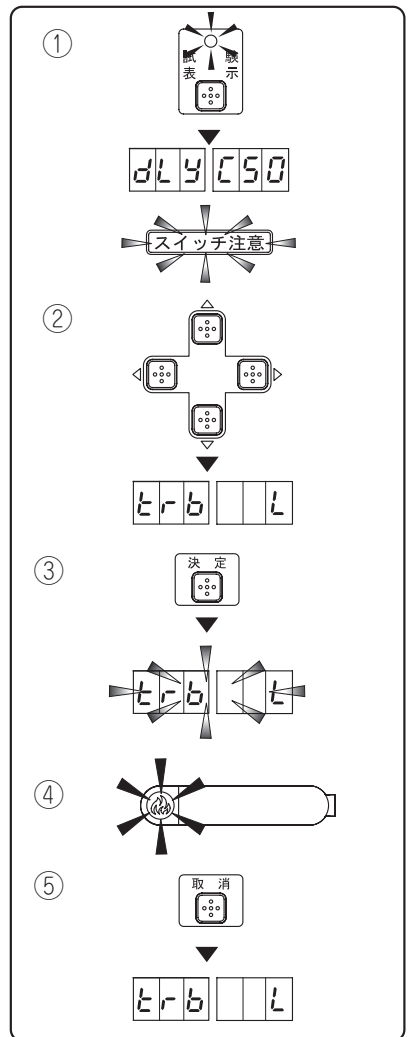
②十字スイッチ(上、下キー)を押して、表示窓に「TRB」「L」を表示します。

③決定スイッチを押すと、表示窓が点滅し、感知器線の障害表示を開始します。

④感知器線断線および火災試験異常になっている回線の地区表示灯が点灯します。表示中に、感知器線の障害が復旧すると、復旧した回線の地区表示灯が消灯します。

⑤取消スイッチを押すと、表示を終了します。

補足 火災が発生した場合または3分間無操作の場合は、自動的に表示を中止します。



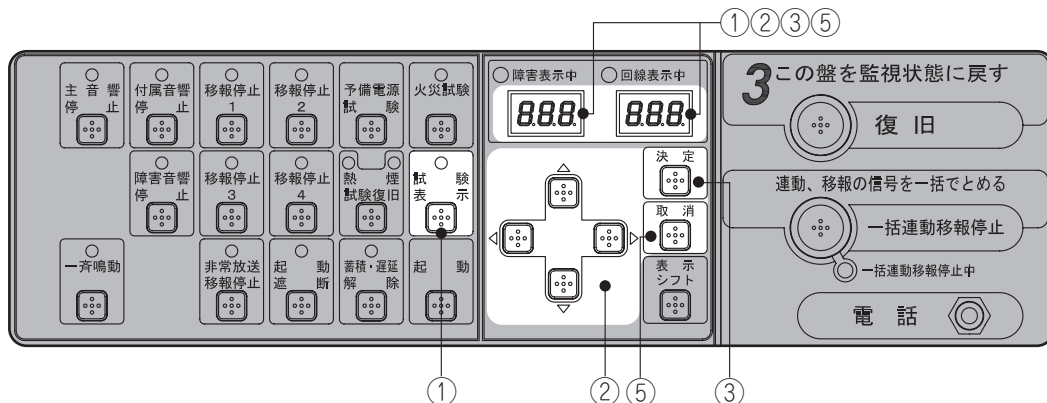
状態表示 (感知器線障害表示)

点検・試験編

点検・試験

地区音響回線鳴動表示

この表示は、地区音響が鳴動している回線を確認するためのものです。



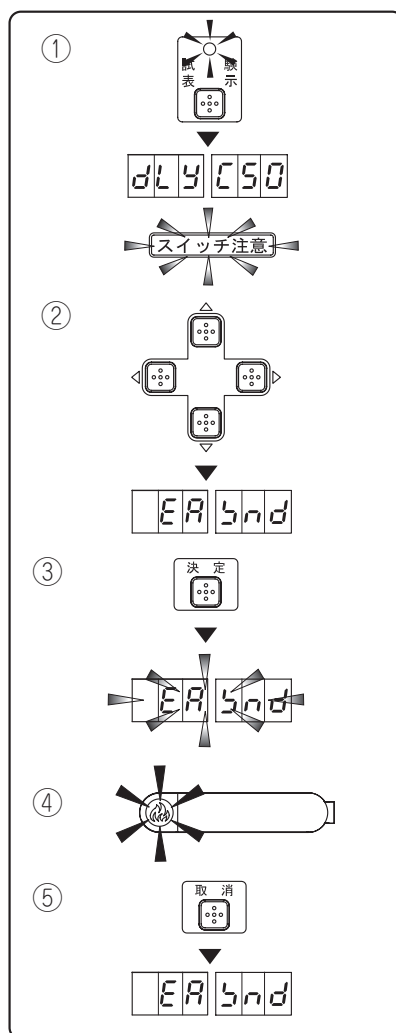
①試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。
表示窓に「DLY」「C50」を表示します。

②十字スイッチ（上、下キー）を押して、表示窓に「EA」「SND」を表示します。

③決定スイッチを押すと、表示窓が点滅し、地区音響回線の鳴動表示を開始します。

④地区音響が鳴動している地区音響回線の地区表示灯が点灯します。
表示中に、地区音響の鳴動が停止すると、地区表示灯が消灯します。

⑤取消スイッチを押すと、表示を終了します。



補足

火災が発生した場合または3分間無操作の場合は、自動的に表示を中止します。

登録内容の確認

登録内容の確認

盤に登録した内容（「連動マトリクス、回線種別、地区音響逐次鳴動・拡大警報時間」など）を、盤面で確認できます。

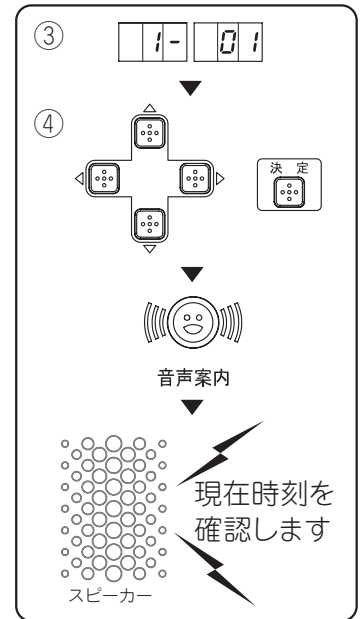
また、登録した内容をUSBメモリーに読み込み、パソコン等で確認することもできます。

盤での登録内容の確認方法（確認モード）

確認モードとは、盤の登録内容を確認する機能です。

また、現在時刻の設定がおこなえます。（→工事説明書 P36）

- ① 盤内の共通基板上にある登録／確認モードスイッチを押します。（→P39）
- ② 基板上的登録／確認モード中灯が点灯します。
- ③ 盤面のスイッチ注意灯が点滅し、表示窓に設定番号「1-」「01」を表示します。
保守操作部のスイッチが確認モード時のスイッチ機能に切り替わります。
- ④ 十字スイッチ（上、下キー）を押して、確認したい登録内容を表示し、決定スイッチを押します。設定番号を選択しているときに音声案内スイッチを押すと、音声により、登録内容をガイダンスします。
- ⑤ 再度、登録／確認モードスイッチを押すと確認モードが解除されます。



補足 設定番号の選択時に、「END」を選択し、決定スイッチを押しても確認モードを解除できます。

登録内容一覧




設定番号	設定項目	設定番号		設定項目	設定番号		設定項目	
		表示窓(左)	表示窓(右)		表示窓(左)	表示窓(右)		
1 -	01	現在時刻設定	2 -	03	2 -	16	ノンロックスイッチ設定	
	02	火報回線種別設定		04		非常時ガイダンス設定	17	未使用スイッチ設定
	03	防排煙回線種別設定		05		防排煙火災時の火災代表移報設定	20	警報音響設定
	04	警報回線種別設定		06		諸表示保持非保持設定	21	警報保持非保持設定
	05	空き回線設定		09		区分鳴動時の一斉鳴動設定	22	蓄積設定
	06	連動マトリクス設定		10		地区音響設定	23	10k Ω終端設定
	07	逆連動マトリクス設定		11		防排煙確認マスク設定	24	20k Ω終端設定
	08	地区音響逐次鳴動時間設定(TA) 地区音響拡大警報時間設定(TC)		12		定期自己診断時間・曜日設定	26	防排煙確認音響設定
2 -	01	諸表示音響設定	13	移報停止スイッチ設定	27	防排煙確認 連動マトリクス設定		
		02	蓄積音響設定	14	ロックスイッチ設定	28	防排煙確認 逆連動マトリクス設定	
			15	ロックスイッチ(移報停止用) 設定				

※注意：製品によって表示しない項目もあります。

補足 確認モードに設定されていても、火災、防排煙火災などが発生すると自動的に解除されます。また、3分間無操作のときは自動的に確認モードが解除されます。

■ USBメモリーでの登録内容の確認方法

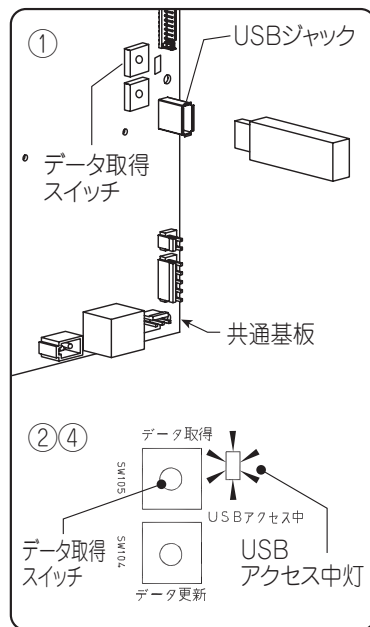
⚠ 注意

 禁止	USBアクセス中灯が点灯している間は、USBメモリーを抜かないでください。
 必ずおこなう	別売の推奨USBメモリーを使用してください。(→工事説明書 P67) 指定以外のUSBメモリーを使用した場合、正常に機能しない恐れがあります。
 禁止	セキュリティ機能付のUSBメモリーは使用しないでください。データの取得が正しくできません。

確認できる登録内容は以下のとおりです。

No	設定項目	説明
1	機種設定	機種、最大回線数を表示します。
2	システム設定	地区音響逐次鳴動時間 (TA)、地区音響拡大警報時間 (TC) や障害音響などのシステム全体の設定を表示します。
3	回線設定	回線種別や終端設定など回線ごとの設定を表示します。
4-1	連動マトリクス設定: 回線	回線ごとの連動先設定を表示します。
4-2	連動マトリクス設定: 代表移報	代表移報ごとの連動先設定を表示します。
5	諸表示設定	諸表示ごとの音響設定などを表示します。
6	移報停止スイッチ設定	移報停止スイッチごとの種別設定を表示します。
7-1	逆連動マトリクス確認: マルチ移報	マルチ移報ごとの連動元設定を表示します。
7-2	逆連動マトリクス確認: 回線	回線移報ごとの連動元設定を表示します。

- ① 盤内の共通基板上にあるUSBジャックにUSBメモリーを差し込みます。(→P40)
- ② 基板上的データ取得スイッチを押します。USBアクセス中灯が点灯します。
- ③ データの取得が正常に終了すると、「データ取得が完了しました」と鳴動します。
- ④ USBアクセス中灯が消灯したことを確認し、USBメモリーを抜きます。
- ⑤ USBメモリーをパソコン等に差し込み、「RPV」フォルダ内の「RPV_CONFIG」ファイル (CSVファイル) を開くと登録内容を確認できます。
- ⑥ データの取得に異常があった場合は、障害音響が鳴動し、表示窓に「E46」とエラーコードが表示されます。
 ※エラーコードが表示されたときは、「障害発生時の点検と処置」(→P67)を参照してください。障害の発生状況を確認してからエラーコード「E46」は3番の復旧スイッチを押して消してください。



補足

- ・ データ取得をおこなうと、USBメモリー内に「RPV」ファイルを自動的に作成します。
- ・ 登録内容ファイルの名称の末尾に、登録内容を取得した日付と時間が付加されています。(例 RPV_CONFIG_20160907_145850.csv)

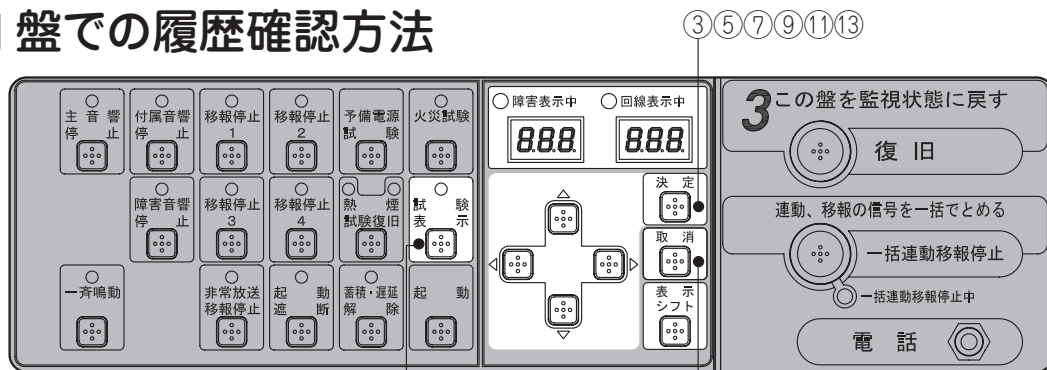
履歴について

履歴とは

過去に発生した操作、発報、障害（以下イベント）の内容を記録する機能です。記録した内容は盤面で確認できます。また、記録した内容をUSBメモリーに読み込み、パソコンなどで確認することもできます。

記録できるイベント数は、最大1200件で、常に最新の1200件が記録されます（1200件以上は、古い履歴より上書きされます）。
表示内容はイベントの発生時刻とイベントの内容です。

盤での履歴確認方法

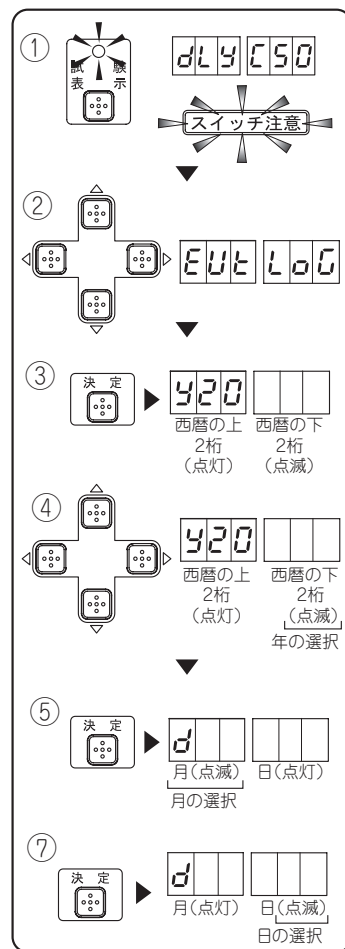


【開始：履歴表示を開始する】

- ①試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。
表示窓に「DLY」「C50」を表示します。
 - ②十字スイッチ(上、下キー)を押して、表示窓に「EVT」「LOG」を表示します。
 - ③決定スイッチを押します。
表示窓(左)に「Y20(西暦の上2桁)」を点灯表示、表示窓(右)に「年(西暦の下2桁)」を点滅表示します。
上・下で、点滅している桁の数字を増減させます。
左・右で、点滅している桁を替えます。
- ※初めに表示される日時は現在盤に設定されている時刻になります。

【検索：確認したい日時を選択する】

- ④十字スイッチで、確認したい「年」を選択します。
- ⑤決定スイッチを押します。
表示窓(左)に「月」を点滅表示、表示窓(右)に「日」を点灯表示します。
- ⑥十字スイッチで、確認したい月を選択します。
- ⑦決定スイッチを押します。
表示窓(左)に「月」を点灯表示、表示窓(右)に「日」を点滅表示します。
- ⑧十字スイッチで、確認したい日を選択します。



⑨決定スイッチを押します。

表示窓(左)に「時間」を点滅表示、表示窓(右)に「分」を点灯表示します。

⑩十字スイッチで、確認したい時間を選択します。

⑪決定スイッチを押します。

表示窓(左)に「時間」を点灯表示、表示窓(右)に「分」を点滅表示します。

⑫十字スイッチで、確認したい分を選択します。

⑬決定スイッチを押します。

確認したい日時を選択が終了し、指定した日時から直近の西暦表示を表示窓に点灯表示します。

【表示：指定したい日時の履歴を表示する】

⑭指定した日時の履歴内容を表示します。

・指定した日時と同じ日時の履歴がない場合は、一つ前の履歴を表示します。

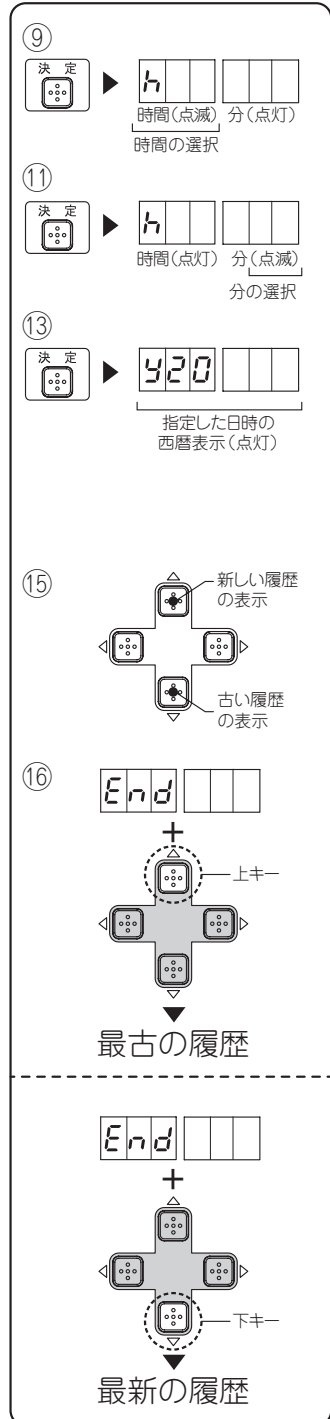
⑮十字スイッチの上キーを押すと、新しい履歴の表示に、下キーを押すと一つ前の古い履歴の表示になります。

⑯最古(最新)の履歴を表示した後に、下キー(上キー)を押すと表示窓(左)に「END」を点灯表示します。「END」を点灯表示した状態で下キー(上キー)を押すと最新(最古)の履歴を表示します。

⑰取消スイッチを押すと、履歴表示を開始する前の状態②に戻ります。

補足

- ・最新の履歴を表示したい場合は【検索】操作のときに日時を選択せずに決定スイッチを4回押します。
- ・現在時刻を設定していない場合は、【開始】操作③から【表示】操作⑭に移り、最新の履歴を表示します。日時は、「2000年1月1日0時0分」からの経過時間を表示します。正しく表示する場合は「時刻設定」をおこなってください。(→工事説明書P36)
- ・イベント内容に詳細内容(回線番号や諸表示番号など)がある場合、イベント内容表示時に表示シフトスイッチを押すことにより、詳細内容を表示することができます。(P60表示例参照)






- 表示例** 履歴① 2016年06月10日15時45分に回線番号2に火災蓄積が発生
 履歴② 2016年06月09日16時40分に音響停止スイッチを操作
 履歴③ 2016年06月09日16時38分に回線番号5で断線が発生

「2016年6月10日16時00分」を選択し、決定スイッチを押したとき

十字 スイッチ	履 歴	表 示 順	表 示 内 容	表 示 内 容	表示窓（左窓）			表示窓（右窓）			
▲ (新)	①	1	西暦	2016年	西暦（上2桁）			西暦（下2桁）			
					Y	2	0		1	6	
		2	月、日	6月10日	月			日			
					D	0	6		1	0	
		3	時、分	15時45分	時			分			
					H	1	5		4	5	
		4	イベント内容 表示シフトスイッチ を押すと詳細内容が 表示され	2回線蓄積	イベント			動 作			
					B	0	1	O	N		
					イベント			回線番号			
					B	0	1	0	0	2	
		②	5	西暦	2016年	西暦（上2桁）			西暦（下2桁）		
						Y	2	0		1	6
	6		月、日	6月9日	月			日			
					D	0	6		0	9	
		7	時、分	16時40分	時			分			
					H	1	6		4	0	
		8	イベント内容	音響停止スイッチ操作	イベント			動 作			
					F	1	0	O	N		
▼ (古)	③	9	西暦	2016年	西暦（上2桁）			西暦（下2桁）			
					Y	2	0		1	6	
		10	月、日	6月9日	月			日			
					D	0	6		0	9	
		11	時、分	16時38分	時			分			
					H	1	6		3	8	
		12	イベント内容 表示シフトスイッチ を押すと詳細内容が 表示され	5回線断線発生	イベント			動 作			
					E	0	4	O	N		
					イベント			回線番号			
					E	0	4	0	0	5	

■ USBメモリーでの履歴確認方法

⚠ 注意

 禁止	USBアクセス中灯が点灯している間は、USBメモリーを抜かないでください。
 必ずおこなう	別売の推奨USBメモリーを使用してください。(→工事説明書 P67) 指定以外のUSBメモリーを使用した場合、正常に機能しない恐れがあります。
 禁止	セキュリティ機能付のUSBメモリーは使用しないでください。データの取得が正しくできません。

① 盤内の共通基板上にあるUSBジャックにUSBメモリーを差し込みます。(→P40)

② 基板上的データ取得スイッチを押します。
USBアクセス中灯が点灯します。

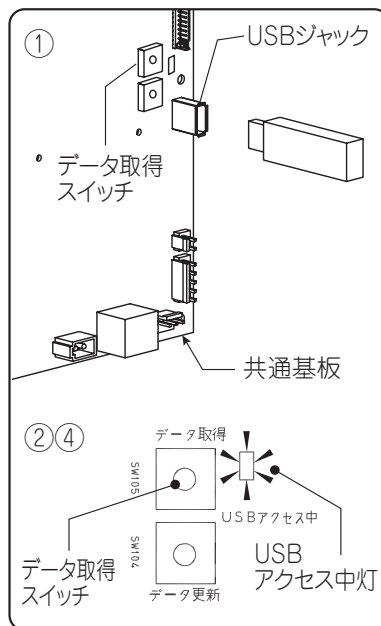
③ データの取得が正常に終了すると、「データ取得が完了しました」と鳴動します。

④ USBアクセス中灯が消灯したことを確認し、USBメモリーを抜きます。

⑤ USBメモリーをパソコンなどに差し込み、「RPV」フォルダ内の「RPV_LOG_EVENT」ファイル(CSVファイル)を開くと履歴を確認できます。

⑥ データの取得に異常があった場合は、障害音響が鳴動し、表示窓に「E46」とエラーコードが表示されます。

※エラーコードが表示されたときは、「障害発生時の点検と処置」(→P67)を参照してください。障害の発生状況を確認してからエラーコード「E46」は3番の復旧スイッチを押して消してください。



補足

- ・ データ取得をおこなうと、USBメモリー内に「RPV」ファイルを自動的に作成します。
- ・ 履歴ファイルの名称の末尾には、履歴を取得した日付と時間が付加されます。(例 RPV_LOG_EVENT_20160609_164030.csv)

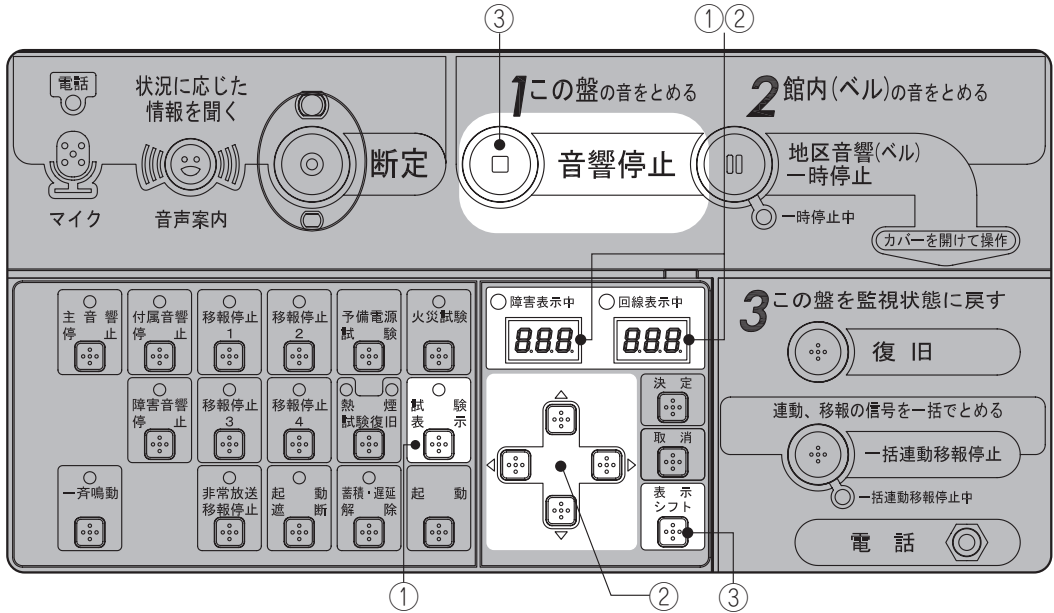
履歴の削除方法

⚠ 注意



注意

この操作をおこなうと、全ての履歴が削除されます。
状況に合わせて、適切な判断のもと操作してください。

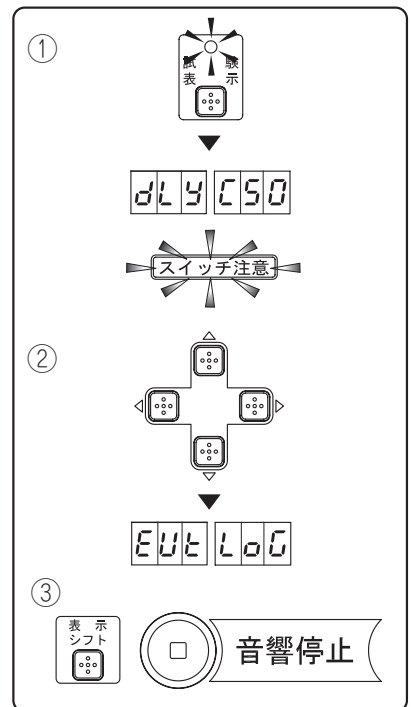


- ①試験表示スイッチを押します。試験表示中灯が点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。
表示窓に「DLY」「C50」を表示します。

- ②十字スイッチ(上、下キー)を押して、表示窓に「EVT」「LOG」を表示します。

- ③表示シフトスイッチと音響停止スイッチを同時に3秒以上押します。

- ④「ピッ」というブザー音が鳴ったら、履歴の削除が完了です。



履歴一覧表

表示窓 (7セグ表示)			イベント内容
左窓	右窓	⇄ 右窓	
B01	ON OFF	***	火災蓄積 ,ON/OFF, ***回線
B02	ON OFF	***	火災 ,ON/OFF, ***回線
B03	ON OFF	***	連動用感知器蓄積 ,ON/OFF, ***回線
B04	ON OFF	***	連動用感知器作動 ,ON/OFF, ***回線
B05	ON OFF	***	防排煙起動 ,ON/OFF, ***回線
B06	ON OFF	***	防排煙確認 ,ON/OFF, ***回線
B09	ON OFF	***	警報 ,ON/OFF, ***回線
B10	ON OFF		発信機 ,ON/OFF
B23	ON OFF	***	防排煙起動遮断 ,ON/OFF, ***回線
C03	ON OFF		定期自己診断または手動自己診断, 開始 / 中止または終了
C04	ON OFF		一斉鳴動 SW,ON/OFF
E01	ON OFF		主電源停電 ,ON/OFF
E02	ON OFF		予備電源未接続 ,ON/OFF
E03	ON OFF	001 002 003 004 005	地区音響電源用ヒューズ断線 ,ON/OFF 防排煙電源用ヒューズ断線 ,ON/OFF 付属電源用ヒューズ断線 ,ON/OFF 表示灯電源用ヒューズ断線 ,ON/OFF 中継器電源線異常 ,ON/OFF
E04	ON OFF	***	感知器線断線 ,ON/OFF, ***回線
E05	ON OFF	001 002	非常放送マイク入力線断線 ,ON/OFF 非常放送マイク入力線短絡 ,ON/OFF
E06	ON OFF	***	火災試験異常 ,ON/OFF, ***回線
E07	ON OFF		予備電源電圧異常または予備電源試験異常 ,ON/OFF
E08	ON OFF	001 002 003	内部メモリ異常 (内部データ破損),ON/OFF 内部メモリ異常 (物件データ更新失敗),ON/OFF 内部メモリ異常 (音声データ破損),ON/OFF

注意：製品によっては、表示しない履歴もあります。

履歴一覧表

表示窓 (7 セグ表示)			イベント内容
左窓	右窓	⇔ 右窓	
E09	ON OFF		発信機確認線異常 ,ON/OFF
E28	ON OFF		主回路電圧異常 ,ON/OFF
E34	ON OFF	001 002	地絡障害 (GND),ON/OFF 地絡障害 (回路),ON/OFF
E42	ON	001 002 003	ユニット異常 ,ON
E46	ON OFF	001 002 003 004 005 006 007	USB メモリ異常 (USB 過電流検出),ON/OFF USB メモリ異常 (USB 認識失敗),ON/OFF USB メモリ異常 (物件データなし),ON/OFF USB メモリ異常 (物件データ異常),ON/OFF USB メモリ異常 (物件データ種別異常),ON/OFF USB メモリ異常 (物件データバックアップ異常),ON/OFF USB メモリ異常 (物件データ取得失敗),ON/OFF
F01	ON OFF		復旧 SW,ON/OFF
F02	ON OFF		地区音響一時停止 SW,ON/OFF
F03	ON OFF		地区音響完全停止 SW,ON/OFF
F04	ON OFF		起動遮断 SW,ON/OFF
F05	ON		断定 SW,ON, 手動
F06	ON OFF		一括連動移報停止 SW,ON/OFF
F10	ON		音響停止 SW,ON
F11	ON OFF		諸表示警報入力 ,ON/OFF, 入力 1
F12	ON OFF		諸表示警報入力 ,ON/OFF, 入力 2
F13	ON OFF		諸表示警報入力 ,ON/OFF, 入力 3
F14	ON OFF		諸表示警報入力 ,ON/OFF, 入力 4
F21	ON OFF		移報停止 SW,ON/OFF,SW1
F22	ON OFF		移報停止 SW,ON/OFF,SW2

注意：製品によっては、表示しない履歴もあります。

履歴一覧表

表示窓 (7 セグ表示)			イベント内容
左窓	右窓	⇔ 右窓	
F23	ON OFF		移報停止 SW,ON/OFF,SW3
F24	ON OFF		移報停止 SW,ON/OFF,SW4
F35	ON		断定 SW,ON, 自動
F55	ON	※※※	防排煙起動 SW,ON, ※※※回線
F56	ON OFF		非常放送移報停止 SW,ON/OFF
F59	ON OFF		非常放送マイク入力, ON/OFF
F60	ON	※※※	地区音響制御 SW,ON, ※※※回線
F61	ON OFF		主音響停止 SW,ON/OFF
F63	ON OFF		付属音響停止 SW,ON/OFF
F64	ON OFF		障害音響停止 SW,ON/OFF
F65	ON		音声案内 SW,ON
F67	ON OFF	001	障害表示 (感知器線),ON/OFF
F68	ON OFF		電話入力 (受信機),ON/OFF
F69	ON OFF		電話入力 (発信機),ON/OFF
F71	ON OFF		試験復旧 (熱)SW,ON/OFF
F72	ON OFF		試験復旧 (煙)SW,ON/OFF
F73	ON OFF		蓄積遅延解除 SW,ON/OFF
F74	ON OFF		自動火災試験, 開始 / 中止または終了
F75	ON OFF	※※※	火災試験, 開始 / 中止または終了, ※※※回線
F76	ON OFF		予備電源試験, 開始 / 中止または終了
F79	ON OFF	001	蓄積機能試験 (一般感知器), 開始 / 中止または終了
F80	ON OFF		表示機能試験, 開始 / 中止または終了

注意：製品によっては、表示しない履歴もあります。

履歴一覧表

表示窓 (7 セグ表示)			イベント内容
左窓	右窓	⇔ 右窓	
F81	ON OFF		地絡試験, 開始 / 中止または終了
F85	ON OFF	***	ロック SW, ON/OFF, ***スイッチ番号
F86	ON OFF	***	ロック SW (移報停止用), ON/OFF, ***スイッチ番号
F87	ON OFF	***	ノンロック SW, ON/OFF, ***スイッチ番号
D00	ON OFF		防災設備立ち上げ, 開始 / 終了
D11	ON OFF		スイッチ操作無効 SW, ON/OFF
D12	ON OFF		登録モード SW, ON/OFF
D13	ON OFF		確認モード SW, ON/OFF
D17	ON OFF		停電音響停止 SW, ON/OFF
D19	ON		操作発報履歴クリア SW, ON
D20	ON OFF		物件データ初期化, ON/OFF
D25	ON OFF		保守施工モード SW, ON/OFF
D26	ON OFF		短時間鳴動 SW, ON/OFF
D27	ON OFF		施工支援 SW, ON/OFF
D28	ON OFF		試験表示 SW, ON/OFF
D29	ON OFF		データ更新 SW, ON/OFF
D30	ON OFF		データ取得 SW, ON/OFF
D32	ON OFF		操作発報履歴表示, ON/OFF
D34	ON OFF		地区音響鳴動回線表示, ON/OFF
D35	ON OFF		自動断定設定, ON/OFF
D36	ON		時刻設定, ON
D37	ON OFF		非常放送短絡監視設定, ON/OFF

障害発生時の点検と処置

障害が発生したら、エラーコード及び音声案内で内容を確認し次の表に示す点検と処置をおこなってください。その他の障害はお問い合わせください。

表示窓		音声案内 〔音響を停止し、音声案内 スイッチを押す。〕	点検と処置内容
エラーコード			
左窓	右窓		
E01	—	停電またはAC用ヒューズが切れています。	<ul style="list-style-type: none"> ①火報専用ブレーカーがOFFになっていませんか。 OFFになっている場合は、ONにしてください。 ②盤内のAC用ヒューズ（F1、F2）が切れていませんか。 切れている場合は、原因を取り除いたのちヒューズを交換してください。
E02	—	予備電源が接続されていません。または予備電源用ヒューズが切れています。	<ul style="list-style-type: none"> ①予備電源のコネクターが接続されていますか。接続されていない場合は、コネクターを接続してください。 ②予備電源用ヒューズ（FH1）が切れていませんか。 切れている場合は、原因を取り除いたのちヒューズを交換してください。

注意：製品によっては、対象外の障害もあります。

表示窓		音声案内 〔音響を停止し、音声案内 スイッチを押す。〕	点検と処置内容
エラーコード			
左窓	右窓		
E03	001	地区音響電源用ヒューズが切れています。	FBヒューズが切れていませんか。地区音響回線の短絡などの原因が考えられます。原因を取り除いたのちヒューズを交換してください。
	002	防排煙電源用ヒューズが切れています。	FDヒューズが切れていませんか。防排煙起動線の短絡などの原因が考えられます。原因を取り除いたのちヒューズを交換してください。
	003	付属電源用ヒューズが切れています。	FIヒューズが切れていませんか。付属電源線の短絡などの原因が考えられます。原因を取り除いたのちヒューズを交換してください。
	004	表示灯電源用ヒューズが切れています。	FPヒューズが切れていませんか。表示灯電源線の短絡などの原因が考えられます。原因を取り除いたのちヒューズを交換してください。
	005	中継器電源線の異常です。	中継器電源線の短絡などの原因が考えられます。原因を取り除いてください。
E04	※※※ ※は 回線番号	感知器線が切れています。	<ul style="list-style-type: none"> ①感知器線（L、C）が断線していませんか。感知器線を調べて断線箇所を修復してください。 ②終端抵抗が外れていませんか。終端抵抗を確実に取り付けてください。 ③使用しない回線ではないですか。「空き回線設定」をおこなってください。

注意：製品によっては、対象外の障害もあります。

表示窓		音声案内 〔音響を停止し、音声案内 スイッチを押す。〕	点検と処置内容
エラーコード			
左窓	右窓		
E05	001	非常放送マイク入力線の配線異常です。	①非常放送設備のマイク入力線が断線していませんか。入力線を調べて断線箇所を修復してください。 ②終端器が外れていませんか。終端器を確実に取り付けてください。
	002		①非常放送設備のマイク入力線が短絡していませんか。入力線を調べて短絡箇所を修復してください。 ②盤内の「非常放送短絡監視設定（ショートピン）」が正しく設定されていますか。 工事説明書（→P25）を参照し、設定状態を確認してください。
E06	※※※ ※は 回線番号	回線の試験異常です。	火災試験異常です。 内部回路の故障が考えられます。 修理を依頼してください。
E07	—	予備電源の電圧異常が試験異常です。	予備電源の電圧が低くなっています。予備電源の放電、寿命などが考えられます。しばらくしても回復しない場合は予備電源の交換を検討ください。なお、完全に放電した予備電源の満充電には、約2日間かかります。
E08	001	盤の内部異常です。	何らかの原因でメモリ異常がおきています。修理を依頼してください。
	002	物件データの更新ができませんでした。	内部メモリの物件データ書き換えに失敗しました。再度、物件データの更新をおこなってください。 障害がなくなる場合は、修理を依頼してください。
	003	盤の内部異常です。	何らかの原因でメモリ異常がおきています。修理を依頼してください。
E09	—	発信機確認線の配線異常です。	発信機確認線が短絡していませんか。発信機確認線を調べて短絡箇所を修復してください。

注意：製品によっては、対象外の障害もあります。

表示窓		音声案内 〔音響を停止し、音声案内 スイッチを押す。〕	点検と処置内容
エラーコード			
左窓	右窓		
E 2 8	—	盤の内部異常です。	交流電源（AC 100 V）が低下していませんか。低下している原因を改善してください。 障害がなくなる場合は、修理を依頼してください。
E 3 4	0 0 1	配線の絶縁不良です。	感知器コモン線（C）などが絶縁劣化していませんか。感知器コモン線を調べて短絡や絶縁劣化している箇所を修復してください。
	0 0 2		感知器線（L）などが絶縁劣化していませんか。感知器線を調べて短絡や絶縁劣化している箇所を修復してください。
E 4 2	0 0 1 0 0 2 0 0 3	盤の内部異常です。	共通基板または回線増設基板の異常が起きています。基板の交換が必要です。修理を依頼してください。
E 4 6	0 0 1	USB 異常です。	壊れた USB メモリーを接続していませんか。 USB メモリーの破損が考えられます。別の USB メモリーを挿入して操作してください。
	0 0 2		USB メモリーを認識できませんでした。USB メモリーが正しく挿入されているか確認し、再度操作をおこなってください。
	0 0 3	物件データがありません。	USB メモリーに物件データがありません。USB メモリーに物件データが正しく入っているか確認し、再度操作をおこなってください。

注意：製品によっては、対象外の障害もあります。

表示窓		音声案内 〔音響を停止し、音声案内 スイッチを押す。〕	点検と処置内容
エラーコード			
左窓	右窓		
E 4 6	0 0 4	物件データの更新ができませんでした。	物件データの読み取りに失敗しました。USBメモリーの破損が考えられます。別のUSBメモリーを挿入して操作してください。
	0 0 5		物件データの種別が異なります。物件データの盤種別が正しいか確認し、再度操作をおこなってください。
	0 0 6		物件データのバックアップに失敗しました。USBメモリーの破損または容量不足が考えられます。別のUSBメモリーを挿入して操作してください。
	0 0 7	データの取得ができませんでした。	履歴や物件データの取得に失敗しました。USBメモリーの破損または容量不足が考えられます。別のUSBメモリーを挿入して操作してください。

注意：製品によっては、対象外の障害もあります。

付 録

よくある質問

お問い合わせ内容	回答
スイッチ注意灯が消灯しない。	「特定のスイッチ」が定位でない状態になっていませんか？ 盤面・盤内の「特定のスイッチ」の状態を確認し、定位に戻してください。 (特定のスイッチ → P20)
スイッチ操作を受け付けない。	「スイッチ操作無効中」に設定されていませんか？ 盤面の「スイッチ操作無効中灯」を確認し、点灯している場合は設定を解除してください。 (スイッチ操作無効 → P32)
火災でないのに火災警報になる。	<p>①煙感知器の近くに煙や水蒸気が滞留していませんか？ 感知器が作動した要因である煙や水蒸気を取り除いてから、3番の復旧スイッチを押してください。</p> <p>②熱感知器に暖房の熱風などが直接当たっていませんか？ 感知器が作動した要因である熱を取り除いてから、3番の復旧スイッチを押してください。</p> <p>③発信機のボタンが押されたままになっていませんか？ 発信機の押しボタンを戻してから、3番の復旧スイッチを押してください。</p> <p>④感知器線が短絡、または絶縁劣化していませんか？ 感知器線を調べて、短絡や絶縁劣化している箇所を修復してください。</p>
電源スイッチはOFFのままで、予備電源のコネクターを盤に接続したのに、盤が立ち上がらない。	盤内の「予備電源遮断中」灯が点灯していませんか？予備電源からの電源供給を遮断している状態になっています。盤内の「予備電源遮断」スイッチを押してください。(→ P40)
停電が発生していないのに、交流電源灯が消灯し、予備電源灯が点灯した。	定期自己診断中に予備電源試験を約2秒間おこなうため、交流電源灯から予備電源灯に表示が切り替わったと考えられます。正常な動作であり、盤に異常はありません。
保守・施工モード中灯が消灯しない。	「保守・施工モード中」に設定されていませんか？ 盤内の「保守・施工モード」スイッチを押して、設定を解除してください。(→ P39)

定格・仕様

(自立筐体等、特殊品につきましては別途ご確認ください。)

P型1級受信機(RPV、HAV)、P型2級受信機(HAV)、連動操作盤(RCV)仕様書

		P型1級受信機		P型2級受信機		連動操作盤	
商品記号		RPV-AAW □		HAV-AAW □		HAV-EAW □	
回路方式		RPV-A24A		HAV-A24A		HAV-E24A	
種別		P型1級受信機 (蓄積式)		P型2級受信機 (蓄積式)		連動操作盤	
型式番号		受第28~3号		受第28~4号			
自主評定番号				A-16-5		A-16-6	
主電源		AC100V 50/60Hz					
トランス容量		75VA		144VA		144VA	
予備電源容量 (ニッケルカドミウム電池)		5~10L	0.45Ah	10~20L	1.65Ah	5L	1.2Ah
		15~20L	0.6Ah			10L	1.65Ah
回路電圧		センサー回路電圧 約20V					
消費電力	監視時(最大)	33VA		42VA		34VA	
	作動時(最大)	65VA		122VA		107VA	
煙感知器		10kΩ終端時 最大30個/回線 (ただし、全回線で平均17個/回線)					
		20kΩ終端時 最大17個/回線 (ただし、全回線で平均17個/回線)					
熱感知器		制限無し(接点式)					
機器接続個数	地区音響装置	8mA ベル	5~10L	25個	DC24V	0.2A	
			15~20L	37個	DC24V	0.3A	
	10mA ベル	5~10L	20個	DC24V	0.2A		
		15~20L	30個	DC24V	0.3A		
型名は代表機種	表示灯	19mA LED方式	5~10L	22個	DC24V	0.42A	
			15~20L	33個	DC24V	0.63A	
	9mA LED方式	5~10L	46個	DC24V	0.42A		
		15~20L	70個	DC24V	0.63A		
自動閉鎖装置		DC24V 2A					
表示盤(※1)	(標準)1台	DC24V 0.045A	DC24V 0.095A	DC24V 0.07A	DC24V 0.075A		
	(最大)4台(※2)	DC24V 0.18A	DC24V 0.38A	DC24V 0.28A	DC24V 0.3A		
中継器		CPT-2A 1台またはMAG-CPA □型 2台					
DC24V 0.06A							
公称蓄積時間		公称蓄積時間 50秒 (熱20秒以内、煙50秒以内)					
蓄積方式		回線個別 一旦復旧方式					
主音響		スピーカー (DC18V、100mA、φ57)					
外部移報	火災代表移報	1c × 1点 (DC30V-1A)					
	火災確認移報	1a × 1点 (DC30V-1A)					
	回線移報(※1)	オープンコレクター出力 × 回線数 (DC30V-50mA)					
	マルチ移報	1c × 2点、1a × 2点 (DC30V-1A)					
表示入力	諸表示	1a × 4点 無電圧接点 (1点: 有電圧 / 無電圧切替可)					
外部配線抵抗		センサー線 (L-C) 50Ω以下					
終端抵抗		10kΩまたは20kΩ					
使用温度範囲		0℃~40℃					
外形寸法及び質量		450(W) × 650(H) × 100(D) [mm]、約13.5kg					
材質		本体、扉: 鋼板製 板厚1.2mm 粉体塗装 パネル部: 自己消火性樹脂 (ABS) 板厚2.7mm					
色彩		本体、扉: マンセル値 N9.0 近似色 パネル部: マンセル値 5Y6/0.5 近似色					
付属品		予備電源、取扱説明書、工事説明書、取付用型紙、注意銘板、共通線内訳表、電源注意銘板、終端抵抗10kΩ(回線数分)、諸表示銘板、移報停止スイッチ用ソール、ヒューズクリップ、予備用地区窓、予備端子カード、送受話器 (1本: P型1級受信機RPV、HAVのみ)					
予備品		ミゼットヒューズ(各3本)、ショートピン(3個)					

※1 表示盤を接続する場合は、回線移報ユニット(FWN-1)の別手配が必要となります。

※2 表示盤を2~4台接続する場合は、防排煙用電源容量や地区音響用電源容量、中継器の接続台数に制限があります。詳細は工事説明書P67を参照してください。

索引

あ	
移報停止	42
エラーコード一覧	27
音響停止	36
音響を停止するときの処置	14
音声案内について	30

か	
確認モード	56
火災警報音が鳴ったとき	23
火災状態の復旧	25
火災断定	25
火災発生時の処置	12
火災（避難）訓練をおこないたい	34
感知器線障害表示	54
感知器のお手入れについて	35
起動遮断	36
基板の操作部（スイッチ、ショートピン）	39
基板配置図	38
くん煙殺虫剤を使いたい	34
警報音一覧	21

さ	
試験表示	37
試験復旧機能	52
システム構成	10
自動火災試験	47
主音響停止	36
手動火災試験	46
手動自己診断	53
障害音響が鳴ったとき	26
障害音響停止	36
障害発生時の点検と処置	67
スイッチ注意灯	20
スイッチ操作無効	32
正常監視中	11

た	
地区音響一時停止	14
地区音響一斉鳴動	28
地区音響回線鳴動表示	55
地区音響完全停止	42
地区音響短時間鳴動	45
地区音響の遠隔制御	44
蓄積機能試験	49
蓄積・遅延解除	37
地絡試験	51
定期自己診断	53
停電になったときの対応	35
“電話です”と鳴ったとき	29
登録内容の確認	56
盤での登録内容の確認方法	56
USBメモリーでの登録内容の確認方法	57

は	
ハンズフリー機能	29
非常放送移報停止	36
表示機能試験	50
表示窓（7セグメント）表示例	3
復旧	25
防排煙火災警報音が鳴ったとき	24
防排煙連動機器の遠隔制御	43
保守・施工モードについて	41
保守用スイッチカバー内操作部	36

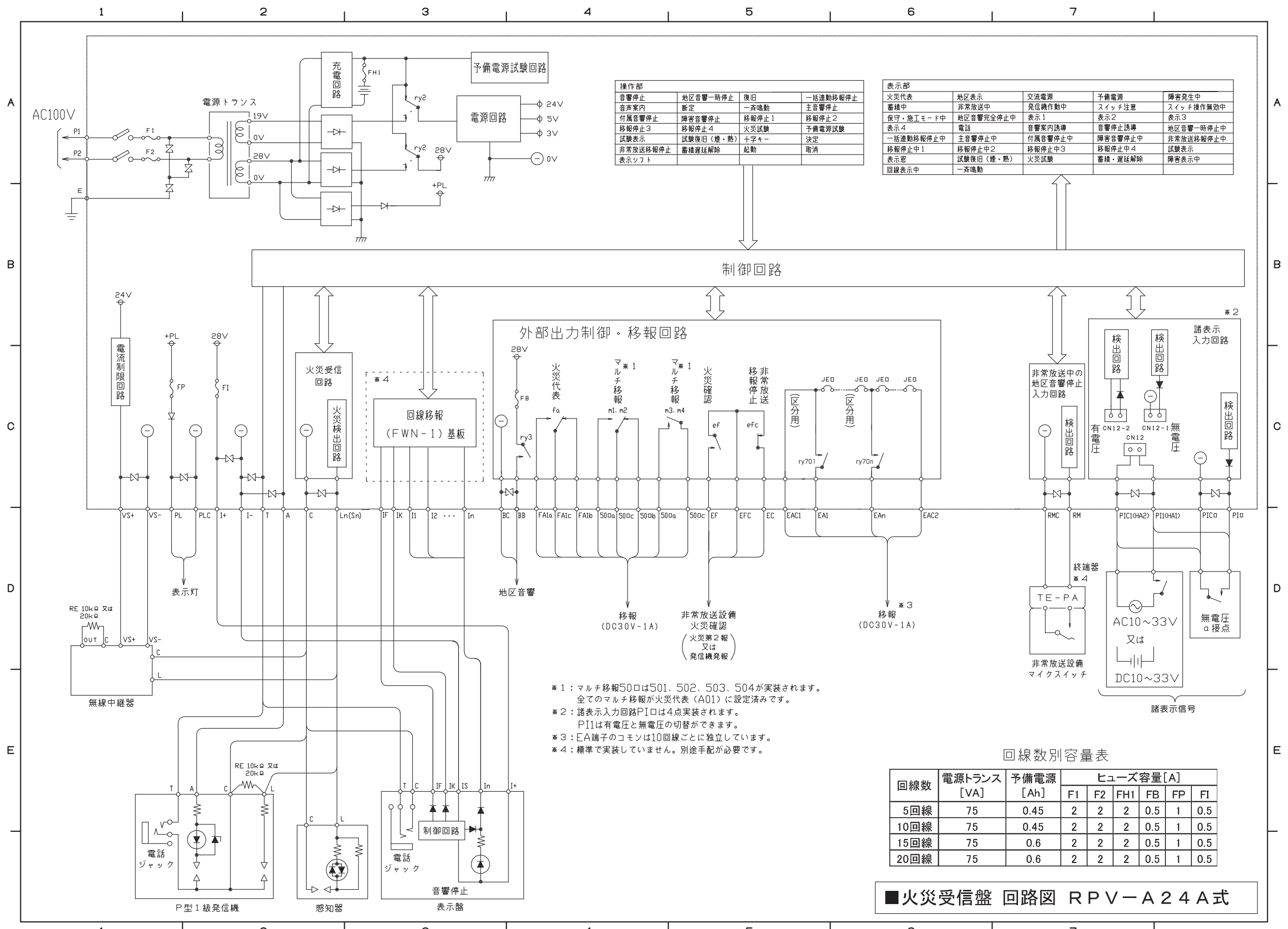
や	
予備電源試験	48

ら	
履歴について	58
盤での履歴確認方法	58
USBメモリーでの履歴確認方法	61

表示窓 (7セグメント) 表示例

数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
表示窓	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
表示窓	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
アルファベット	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
表示窓	n	o	P	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z



操作部			
音響停止	地区音響一時停止	復旧	一括運動移報停止
音声案内	断定	一斉鳴動	主音響停止
付属音響停止	障害音響停止	移報停止1	移報停止2
移報停止3	移報停止4	火災試験	予備電源試験
試験表示	試験復旧(煙・熱)	十字キー	決定
非常放送移報停止	番積遅延解除	起動	取消
表示ソフト			

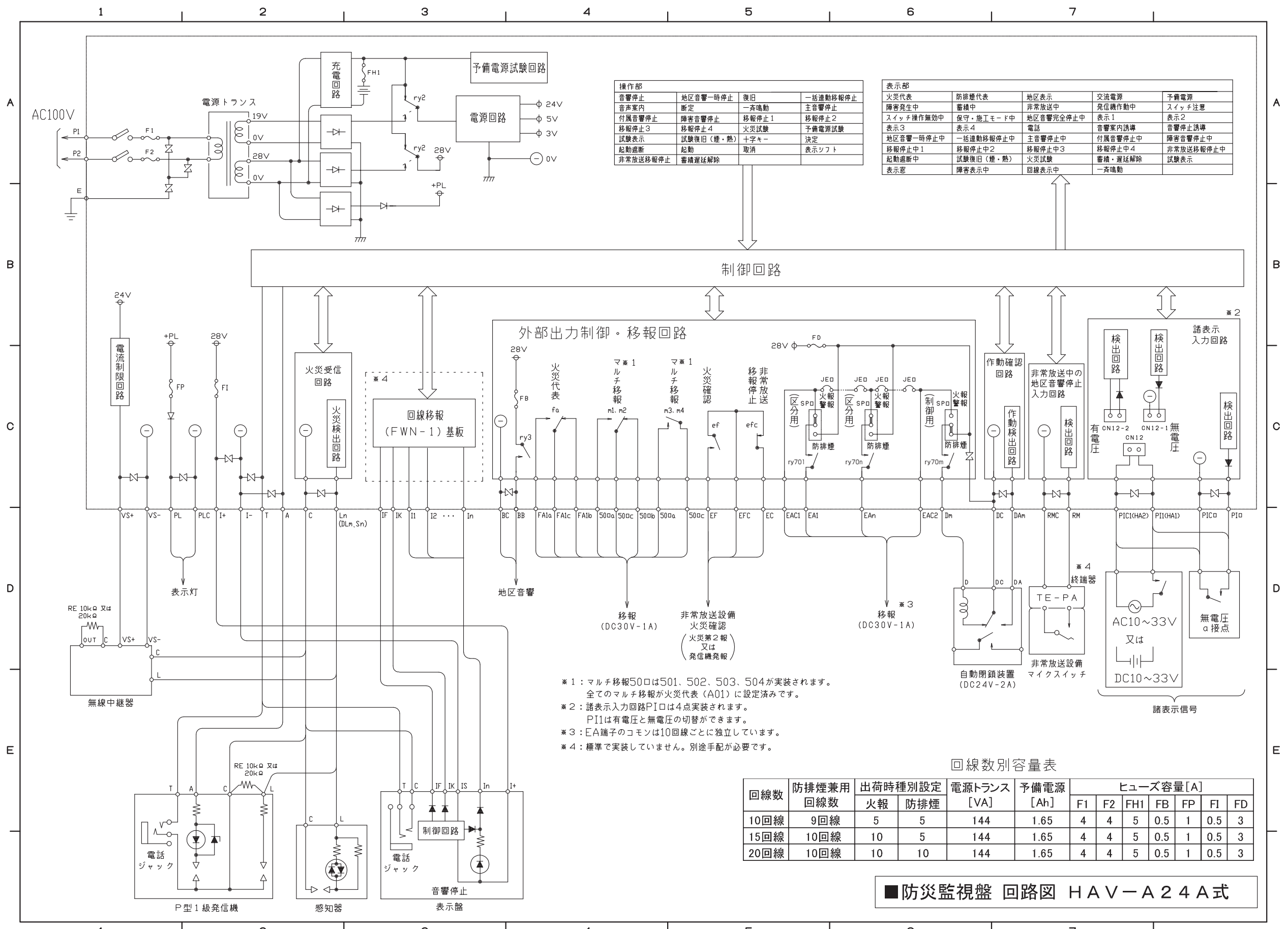
表示部				
火災代表	地区表示	交流電源	予備電源	障害発生中
番積中	非常放送中	発信機作動中	スイッチ注意	スイッチ操作無効中
保守・施工モード中	地区音響完全停止中	表示1	表示2	表示3
表示4	電話	音響案内誘導	音響停止誘導	地区音響一時停止中
一括運動移報停止中	主音響停止中	付属音響停止中	障害音響停止中	非常放送移報停止中
移報停止中1	移報停止中2	移報停止中3	移報停止中4	試験表示
表示窓	試験復旧(煙・熱)	火災試験	番積・遅延解除	障害表示中
回線表示中	一斉鳴動			

- * 1 : マルチ移報50口は501、502、503、504が実装されます。全てのマルチ移報が火災代表(A01)に設定済みです。
- * 2 : 諸表示入力回路PI口は4点実装されます。PI1は有電圧と無電圧の切替ができます。
- * 3 : EA端子の共通は10回線ごとに独立しています。
- * 4 : 標準で実装していません。別途手配が必要です。

回線数別容量表

回線数	電源トランス [VA]	予備電源 [Ah]	ヒューズ容量 [A]					
			F1	F2	FH1	FB	FP	FI
5回線	75	0.45	2	2	2	0.5	1	0.5
10回線	75	0.45	2	2	2	0.5	1	0.5
15回線	75	0.6	2	2	2	0.5	1	0.5
20回線	75	0.6	2	2	2	0.5	1	0.5

■火災受信盤 回路図 RPV-A24A式



操作部			
音響停止	地区音響一時停止	復旧	一括連動移報停止
音声案内	断定	一斉鳴動	主音響停止
付属音響停止	障害音響停止	移報停止1	移報停止2
移報停止3	移報停止4	火災試験	予備電源試験
試験表示	試験復旧(煙・熱)	十字キー	決定
起動遮断	起動	取消	表示シフト
非常放送移報停止	番積遅延解除		

表示部				
火災代表	防排煙代表	地区表示	交流電源	予備電源
障害発生中	番積中	非常放送中	発信機作動中	スイッチ注意
スイッチ操作無効中	保守・施工モード中	地区音響完全停止中	表示1	表示2
表示3	表示4	電話	音響案内誘導	音響停止誘導
地区音響一時停止中	一括連動移報停止中	主音響停止中	付属音響停止中	音響停止中
移報停止中1	移報停止中2	移報停止中3	移報停止中4	非常放送移報停止中
起動遮断中	試験復旧(煙・熱)	火災試験	番積・遅延解除	試験表示
表示窓	障害表示中	回線表示中	一斉鳴動	

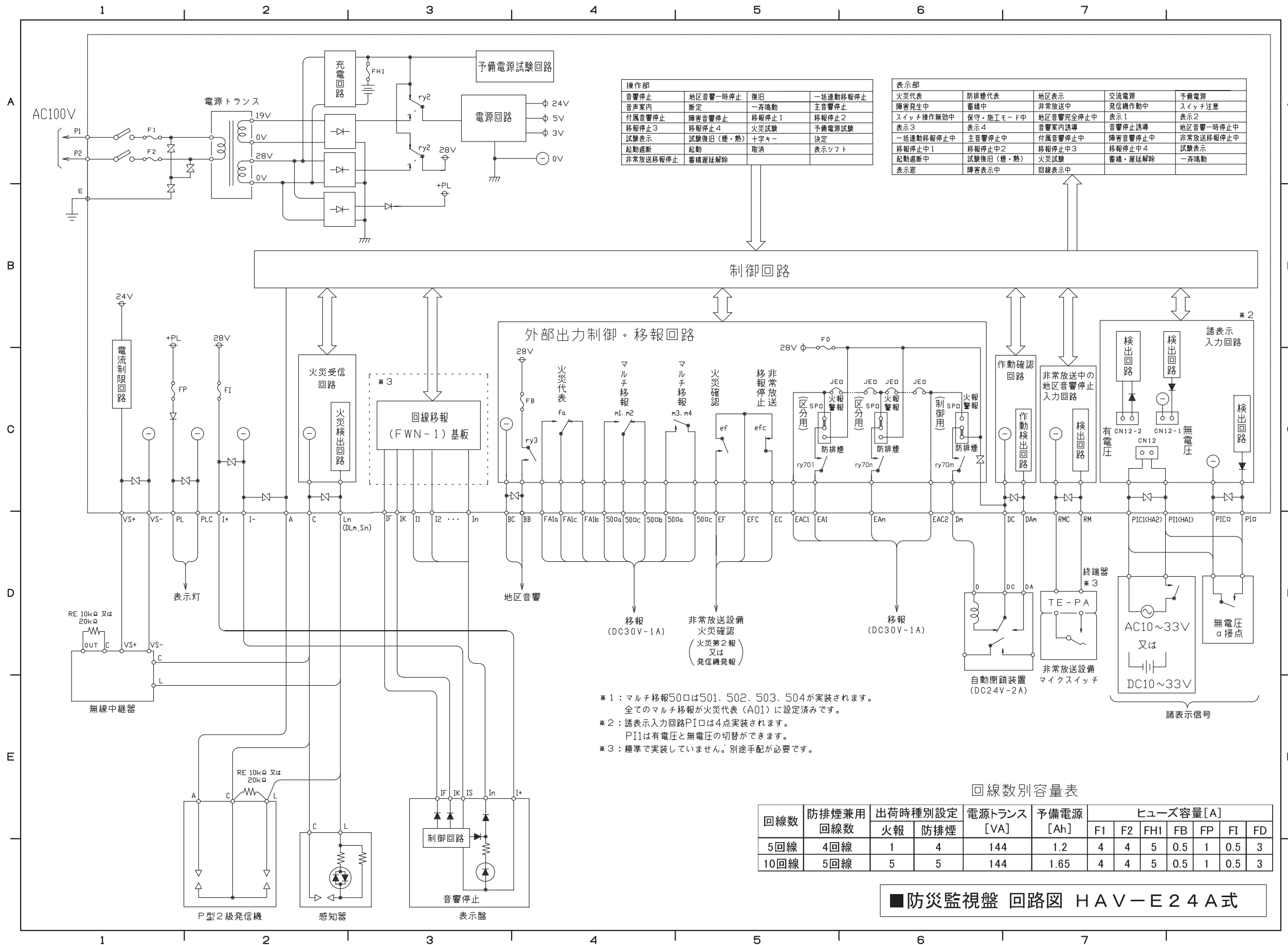
外部出力制御・移報回路

- * 1: マルチ移報50口は501、502、503、504が実装されます。全てのマルチ移報が火災代表(A01)に設定済みです。
- * 2: 諸表示入力回路PI口は4点実装されます。PI1は有電圧と無電圧の切替ができます。
- * 3: E端子のコモンは10回線ごとに独立しています。
- * 4: 標準で実装していません。別途手配が必要です。

回線数別容量表

回線数	防排煙兼用回線数	出荷時種別設定		電源トランス [VA]	予備電源 [Ah]	ヒューズ容量 [A]						
		火報	防排煙			F1	F2	FH1	FB	FP	F1	FD
10回線	9回線	5	5	144	1.65	4	4	5	0.5	1	0.5	3
15回線	10回線	10	5	144	1.65	4	4	5	0.5	1	0.5	3
20回線	10回線	10	10	144	1.65	4	4	5	0.5	1	0.5	3

■ 防災監視盤 回路図 HAV-A24A式



操作部			
音響停止	地区音響一時停止	復旧	一括連動移報停止
音声案内	断定	一斉鳴動	主音響停止
付属音響停止	障害音響停止	移報停止1	移報停止2
移報停止3	移報停止4	火災試験	予備電源試験
試験表示	試験復旧(煙・熱)	十字キー決定	
起動遮断	起動	取消	表示シフト
非常放送移報停止	番積遅延解除		

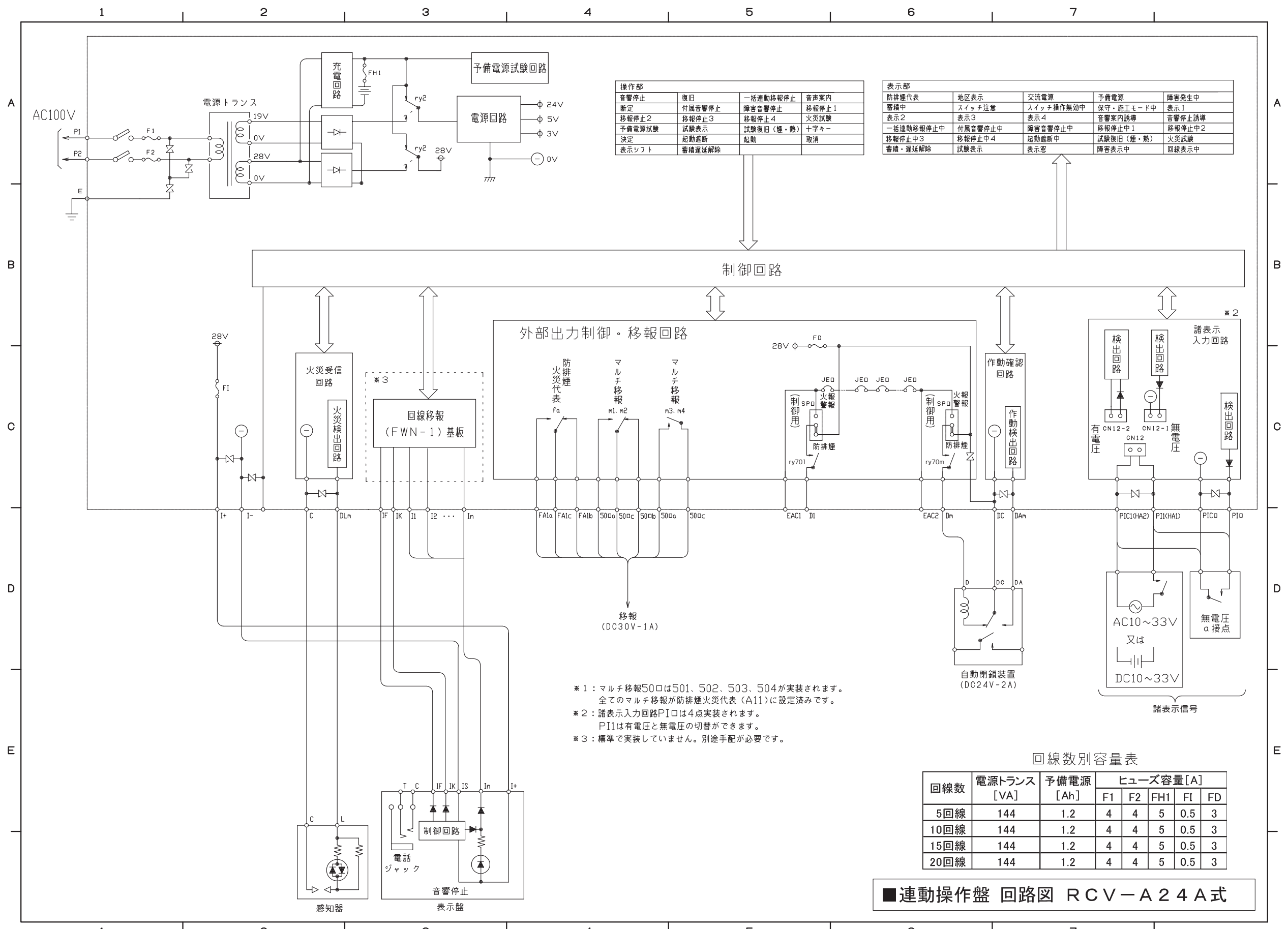
表示部				
火災代表	防排煙代表	地区表示	交流電源	予備電源
障害発生中	番積中	非常放送中	発信機作動中	スイッチ注意
スイッチ操作無効中	保守・施工モード中	地区音響完全停止中	表示1	表示2
表示3	表示4	音響案内誘導	音響停止誘導	地区音響一時停止中
一括連動移報停止中	主音響停止中	付属音響停止中	障害音響停止中	非常放送移報停止中
移報停止中1	移報停止中2	移報停止中3	移報停止中4	試験表示
起動遮断中	試験復旧(煙・熱)	火災試験	番積・遅延解除	一斉鳴動
表示窓	障害表示中	回線表示中		

- * 1 : マルチ移報50口は501、502、503、504が実装されます。全てのマルチ移報が火災代表(A01)に設定済みです。
- * 2 : 諸表示入力回路PI口は4点実装されます。PI1は有電圧と無電圧の切替ができます。
- * 3 : 標準で実装していません。別途手配が必要です。

回線数別容量表

回線数	防排煙兼用回線数	出荷時種別設定		電源トランス [VA]	予備電源 [Ah]	ヒューズ容量[A]						
		火報	防排煙			F1	F2	FH1	FB	FP	FI	FD
5回線	4回線	1	4	144	1.2	4	4	5	0.5	1	0.5	3
10回線	5回線	5	5	144	1.65	4	4	5	0.5	1	0.5	3

■ 防災監視盤 回路図 HAV-E24A式



操作部			
音響停止	復旧	一括連動移報停止	音声案内
断定	付属音響停止	障害音響停止	移報停止1
移報停止2	移報停止3	移報停止4	火災試験
予備電源試験	試験表示	試験復旧(煙・熱)	十字キー
決定	起動遮断	起動	取消
表示ソフト	番積遅延解除		

表示部				
防排煙代表	地区表示	交流電源	予備電源	障害発生中
番積中	スイッチ注意	スイッチ操作無効中	保守・施工モード中	表示1
表示2	表示3	表示4	音響案内誘導	音響停止誘導
一括連動移報停止中	付属音響停止中	障害音響停止中	移報停止中1	移報停止中2
移報停止中3	移報停止中4	起動遮断中	試験復旧(煙・熱)	火災試験
番積・遅延解除	試験表示	表示窓	障害表示中	回線表示中

- * 1 : マルチ移報50口は501、502、503、504が実装されます。全てのマルチ移報が防排煙火災代表(A11)に設定済みです。
- * 2 : 諸表示入力回路PI口は4点実装されます。PI1は有電圧と無電圧の切替ができます。
- * 3 : 標準で実装していません。別途手配が必要です。

回線数別容量表

回線数	電源トランス [VA]	予備電源 [Ah]	ヒューズ容量 [A]				
			F1	F2	FH1	FI	FD
5回線	144	1.2	4	4	5	0.5	3
10回線	144	1.2	4	4	5	0.5	3
15回線	144	1.2	4	4	5	0.5	3
20回線	144	1.2	4	4	5	0.5	3

■ 連動操作盤 回路図 RCV-A24A式

火災報知・消火・トンネル防災・情報通信・出入管理など各種システムの製造、販売、施工、保守

 **ホーチキ株式会社**

本 社 〒141-8660 東京都品川区上大崎 2-10-43 TEL03 (3444) 4111 FAX03 (3444) 4118

お客様ご相談窓口 **0120-919-856** 受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00 (土・日・祝祭日、および弊社休業日を除く)